

marantz®

Model VP-12S3/VP-12S3L 取扱説明書

DLP™ Projector



お買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などがありましたら、お早めにお買い上げ店、当社お客様ご相談センター、または最寄りの当社営業所／サービスセンターにお問い合わせください。

安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。



警告



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- この機器を設置する場合は、壁から30cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は30cm以上離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から10cm以上、左右側面、前面、背面から30cm以上のすきをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。
- ゲーム機器に接続しないでください。健康を損なう恐れがあります。



水場での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器の上でろうそく等の炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因となります。
- 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。
- 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- この機器を使用できるのは、日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。
- この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。
 - この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
 - この機器を押し入れ、専用ラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
 - テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上に置いて使用する。
- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。
- この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。
- この機器の下に紙や布などの柔らかいものを置かないでください。底面の吸気孔に吸い付いて内部の温度が上がり、火災の原因となります。



警告



分解禁止

- この機器のキャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)に従って処理してください。



注意

- 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス端子⊕とマイナス端子⊖の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。
- この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。
- この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。
- 光源ランプ点灯中にレンズをのぞき込まないでください。強い光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



- テレビ、オーディオ機器、ビデオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 本機の電源を入れる前には音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。
- 電池をリモコンに挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。



- 長期間使用しないとき、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。



注意



電源プラグを
コンセントから抜け

- 万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。



- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。



- 磁力の影響を受けやすいものを近づけると、不具合が生じることがあります。ご注意ください。
- ランプ寿命が1,000時間を超えたら、早めのランプ交換を推奨します。品質には万全を期しておりますが、ごくまれにランプが破損することがあります。



電源プラグを
コンセントから抜け

- 旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

ランプ取り扱い上の注意

警告

SHPランプは、ガラス製の高圧水銀ランプです。このランプは、交換時の取扱方法、プロジェクターの周囲温度などにより、破裂したり不点灯になる場合があります。

またランプの寿命はランプによってばらつきがあり、使用後すぐに破裂したり不点灯になることがあります。ランプが破裂した場合、ランプユニットやプロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプバルブ内の水銀を含むガスがプロジェクターの排気孔から出たりすることがあります。

ご使用前に、プロジェクターおよび交換ランプの取扱説明書をよくお読みになり、取扱には十分ご注意ください。

万一の際はサービスマンにお問い合わせください。



点灯中のランプは、絶対に肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になることがあります。



点灯中のランプの光りを、絶対に直接皮膚に当てないでください。皮膚に炎症がおこる原因となります。



ランプを落したり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、傷をつけたりしないようにしてください。



ランプを交換する時は、火傷や感電の恐れがありますので、必ず電源を切りAC電源コードを抜いて、ランプが完全に冷えるまで60分以上待ってから行なってください。



万一、ランプが破裂した場合は、必ずAC電源コードをコンセントから抜いて、サービスマンにランプ交換を依頼してください。ガラスの破片で、けがをしたりプロジェクター内部を傷つける恐れがありますので、お客様によるランプ交換やプロジェクター内部の清掃はおやめください。



プロジェクターを天吊りや高所に設置されている場合、高所の作業は非常に危険ですので、お客様によるランプ交換やランプ破損の処理は絶対に行わないでください。

注意



長時間使用したランプは、破裂する可能性が高くなります。早めのランプ交換をお勧めします。最大使用時間を越えての使用は絶対におやめください。



交換用ランプユニットは、マランツ純正品をお使いください。交換する際には、取扱説明書に明記されているランプユニットの型番と同じことをご確認ください。



ランプ交換の際は、取扱説明書内の“ランプユニットの交換”をよくお読みになり、交換作業を行なってください。



使用済みのランプは割らずに、産業廃棄物として指定の処理業者又は購入先へ廃棄を依頼してください。



万一、ランプが破損した場合、水銀蒸気を吸わないために、すぐにその場を離れ30分以上の室内換気を行ってください。



万一、水銀蒸気を吸った場合には、医者診断を受け、その指示に従ってください。

目次

ご使用上の注意.....	2	メニューの使いかた.....	21
注意：ランプの取り替え.....	2	メニューの構成.....	21
注意：ランプユニット.....	2	メニューの操作方法.....	22
注意：プロジェクターの設置.....	2	画質調整をする.....	23
動作時の注意.....	2	微調整をする(ファインメニュー).....	24
主な特長.....	3	画面設定をする.....	26
付属品の確認.....	4	システム設定をする.....	27
各部の名称とはたらき.....	5	表示設定の調整.....	28
本体正面と上面.....	5	初期設定をする.....	29
本体後面と端子部分.....	6	トリガー設定.....	30
本体底面.....	6	メモリーを選ぶ(プリセット).....	31
リモコン.....	7	メンテナンスのしかた.....	32
リモコンの操作範囲.....	8	ランプ寿命とランプ交換.....	32
リモコンの電池の入れ方.....	8	ランプユニットの交換.....	33
接続のしかた.....	9	色温度の補正.....	35
電源コードの接続.....	9	レンズのお手入れ.....	36
ビデオ機器との接続.....	9	交換部品.....	36
HDビデオ、サテライト、ケーブルチューナー		別売品.....	36
またはパソコンとの接続.....	10	仕 様.....	37
本格的なホームシアターシステムの接続.....	10	用 語.....	38
ご使用前の設定.....	11	外観図.....	39
電源を入れる.....	11	故障かな?と思ったら.....	40
ズームとフォーカス調整.....	11	エラーモード一覧.....	41
投影画像の位置を調整.....	11	スクリーンメッセージ.....	41
本機の高さ調節(アジャスター調整).....	12	保証・アフターサービスについて.....	42
フォーカスの微調整.....	12		
画像の台形ひずみを補正.....	13		
設置について.....	14		
設置のしかた.....	14		
スクリーンサイズと投影距離(VP-12S3).....	15		
スクリーンサイズと投影距離(VP-12S3L).....	16		
基本的な使いかた.....	17		
電源を入れる.....	17		
入力信号を選択する.....	17		
アスペクト(縦横比)モードを選択する.....	17		
16:9スクリーンをご使用の場合.....	18		
4:3スクリーンをご使用の場合.....	19		
電源を切る.....	20		

ご使用上の注意

注意 | ランプの取り替え

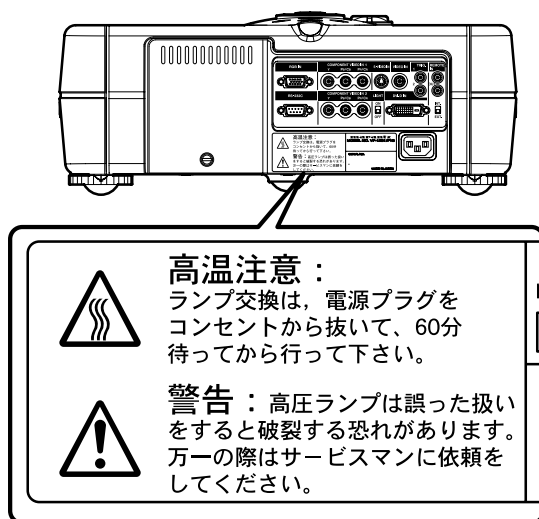
ランプが割れた場合、ガラスの破片にご注意ください。

注意 | ランプユニット

ランプが割れた場合、ガラスの破片にご注意ください。

ランプが割れた場合は、お近くの当社営業所／サービスセンターまたは販売店にランプユニットの交換をお申し付けください。

「ランプユニットの交換」(P.33)

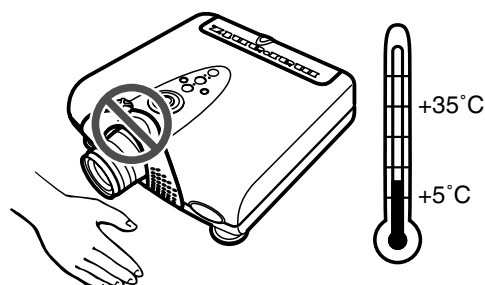


注意 | プロジェクターの設置

少ないメンテナンス回数で、性能を維持するために、湿気、ホコリ、煙草の煙が多い場所には設置しないでください。

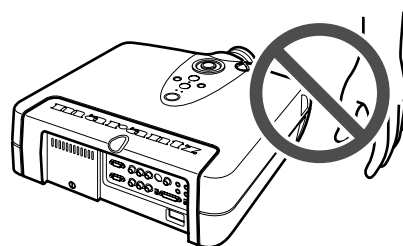
もしこのような場所に設置した場合は、レンズや通気孔のクリーニングを通常よりも頻繁に行ってください。適切なメンテナンスが行われていれば、このような環境中でも、本機を長くご利用いただくことができます。本機内部の清掃は、当社営業所／サービスセンターまたは販売店にご相談ください。

- 暑すぎたり寒すぎたりする場所に、本機を設置しないでください。
動作温度：5℃～35℃
保管温度：-20℃～+60℃



動作時の注意

- 通気孔、ランプ室カバーなどの周辺部は、プロジェクター動作時にとても熱くなることがあります。やけどをする恐れがありますので、十分に冷めるまで触れないようにしてください。
- 通気孔から近くの壁または障害物までの距離を、最低でも30cmはあけてください。
- 冷却ファン(通気孔)の前がふさがれていると、保護回路が自動的に働きランプを消灯させますが、これは故障ではありません。電源コードをコンセントから抜いて、最低10分はお待ちください。その後、通気孔をふさいでいる物を取り除いてから、もう一度電源コードをコンセントに差し込んでください。プロジェクターは正常な動作に戻ります。



主な特長

— 高画質技術 —

■ DLP™技術を採用し、業界トップクラスの高コントラスト比(3800:1)を実現

- 最新型 DMD™ 素子HD2+ (1280X720画素16:9ワイドパネル)を搭載。後述する映像回路、光学系部品など、映画鑑賞用に最適化したシステムにより、高い色再現性と映画フィルム並みの深い黒を再現し、暗部が引き締まった階調豊かな映像を表現。

■ 高品位なビデオ映像を実現する、Faroudja製高画質、画像処理IC搭載

- Faroudjaが誇る高画質輪郭補正技術「DCDi™」をはじめ、「高性能動き適応型IP変換」「2-3プルダウン機能」など専用プロセッサに搭載される高画質画像処理ICを贅沢に3チップ構成で搭載し、きめ細かく滑らかな高品質映像を実現。

■ 高品位映像をあますところなく高精度に投射する光学ユニット部

- 異常分散レンズを使用した色収差の少ない13群14枚構成レンズなど、マランツのプロジェクター用に特注したミノルタ社製光学系を採用。フォーカス感の高い映像を実現。
- 色純度を大幅に改善するO.R.C.A.(Optically Reproducing Color Accurately)フィルター
- シアター専用設計の大型98mm 3原色カラーホイールにNDフィルターを搭載した新開発7セグメントカラーホイール。

— 多彩な機能 —

■ 自動色温度調整機能

- 付属する色温度センサーを使用することにより、ランプ交換や経年変化時において自動的に色温度を調整。

■ 好みの映像を実現する様々な画質調整機能

- 視聴環境や映像ソースにあわせて選べる4つの画像モード(シアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザー)
- 新搭載 5プリセットガンマ
- 好みの映像に自在に調整出来るファインメニュー
- 調整した画像を保存できる18個のユーザーメモリー
- 色温度設定機能 (5250K、5800K、6500K、7500K、9300K)
- ブラックレベル調整機能 (0IRE、7.5IREまたはEXPAND、NORMAL (DVI-D入力時))

お知らせ：画素欠け

DMD™ (Digital Micromirror Device™)は精密技術によって製造されていますが、投影画面上に画素欠けが見られることがあります。画素欠けが生じないよう、品質管理に最大限の努力を行っていますが、最新の技術をもってしても、画素欠けを完全に無くすることは不可能です。そのため、画素欠けについては保証の対象外になります。あらかじめご了承ください。

— 快適なホームシアター環境を提供 —

■ BSハイビジョンなど多彩な入力に対応

- NTSC、PAL、SECAM、BSハイビジョン放送(480i/480p / 720p / 1035i / 1080i)の各入力に対応。
- HDCP対応DVI-Dデジタル入力端子をはじめ、2系統のコンポーネント端子などの豊富な入力端子

■ 高い設置、操作性

- 1.2倍ズームレンズ
- 投射位置を上下に移動出来るレンズシフト機能
- 縦、横の台形ひずみを補正する水平・垂直デジタルキーストン
- 機能、天吊・背面投影にも対応する投射モード
- ハイトアジャスト機能
- ライトアップ&蓄光リモコン
- 暗い視聴環境下においても接続の変更、確認を容易にする入出力端子ライトアップ機能
- カスタムインストールに対応するRS-232C制御端子や12Vトリガー端子を装備。
- マランツシステムバス対応端子

■ 静音、安全設計

- ダイキャスト製静音ダクトとカラーホイールモーターの密閉化、ファン回転数制御などにより低動作ノイズを実現。
- 高剛性で低輻射ノイズを実現するダイキャストシャーシ
- 2000時間の安定寿命と二重シールド安全構造を採用した200W SHPランプ。

— DMD™ (Digital Micromirror Device™)、DLP™ (Digital Light Processing™) は、米国テキサス・インスツルメンツ (Texas Instruments) 社の登録商標です。

— DCDi は、Faroudja の商標です。Faroudja は、米国 Genesis Micro chip Inc. の一部門です。

— 本書に記載されている各製品名は、各社の商標または登録商標です。

— DVIロゴはDDWG (Digital Display Working Group)の商標です。

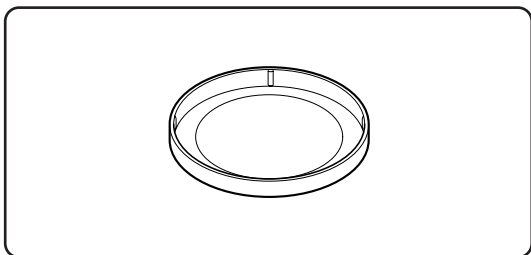
お知らせ：ランプ

SHPランプは精密技術によって製造されていますが、まれに寿命前に不具合を起こすことがあります。また、プロジェクターの明るさは、ランプの使用時間が増えるごとに暗くなります。寿命前にランプの不具合が生じないよう、品質管理に最大限の努力を行っていますが、最新の技術をもってしても、寿命前のランプの不具合を完全に無くすることは不可能です。そのため、SHPランプの不具合(破裂、切れる)については、初めから不具合が生じていたときのほかは、保証の対象外になります。同様に、使用時間が増したときに起こる、SHPランプの不具合(点滅、暗くなる)についても、保証の対象外になります。あらかじめご了承ください。

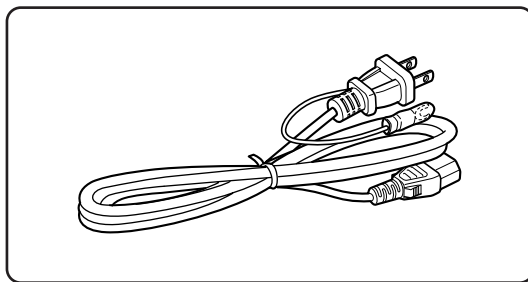
付属品の確認

箱を開けたら、ご使用前に下記の付属品が入っていることをご確認ください。

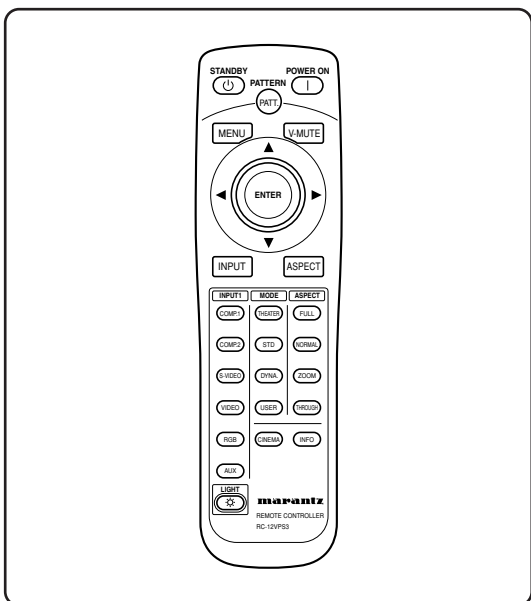
- レンズキャップ×1



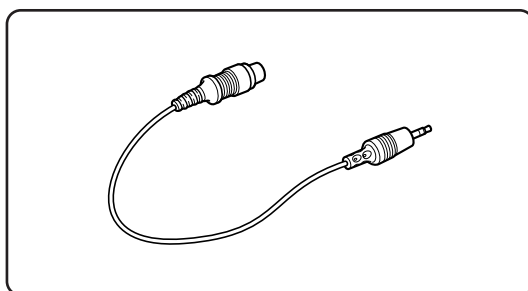
- AC電源コード（100V）×1



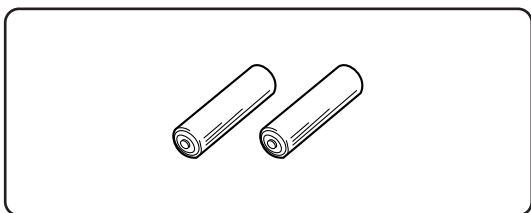
- リモコン×1



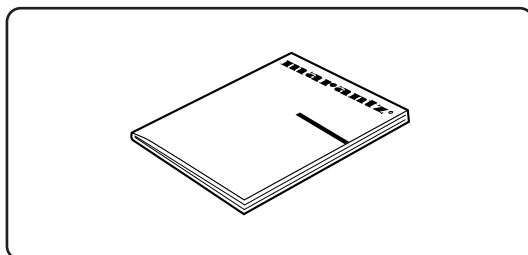
- コントロールアダプターケーブル
(RCAミニジャック) ×1



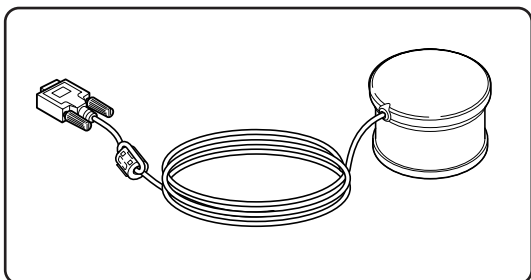
- 単三乾電池×2



- 取扱説明書×1



- 色温度センサー×1

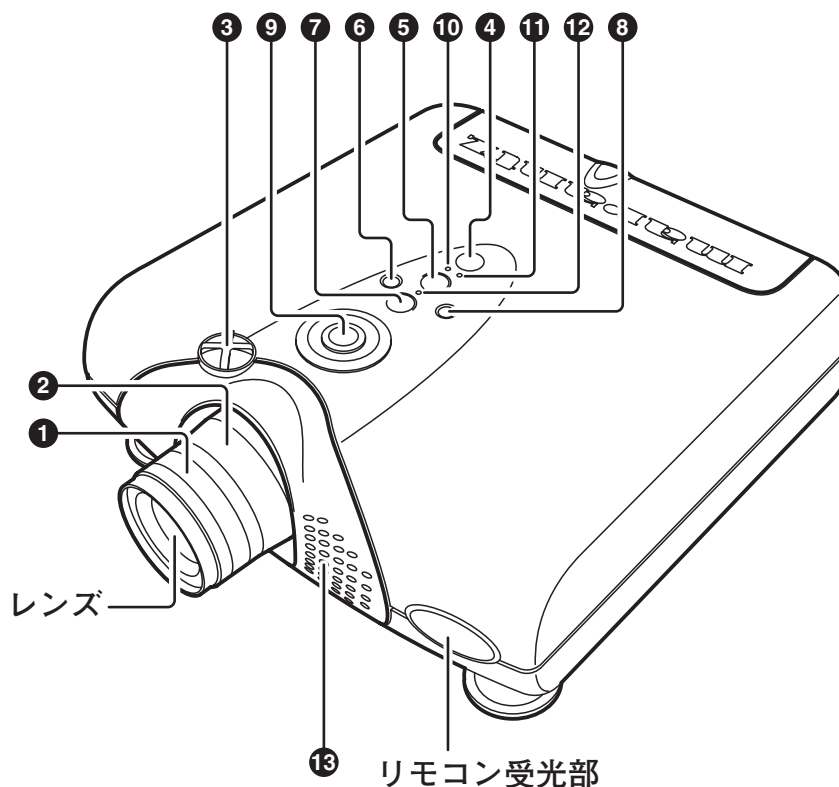


- 保証書×1

- ご愛用者カード×1

各部の名称とはたらき

本体正面と上面



① フォーカスリング (P.11)

映像のフォーカス(ピント)を調整します。

② ズームリング (P.11)

映像の投影サイズを調整します。

③ レンズシフトノブ (P.11)

左右に回すことにより映像を上下に移動させます。

④ POWER(パワー) ボタン (P.17)

電源の入/切(スタンバイ：待機状態)を切り替えます。

⑤ MENU(メニュー) ボタン (P.22)

メニューを表示します。

⑥ ENTER(エンター) ボタン

選択したメニューの項目を確定します。

⑦ INPUT(入力信号選択) ボタン (P.17)

入力信号 (COMPONENT1、COMPONENT2、S-VIDEO、VIDEO、RGB、AUX) を切り替えます。

⑧ PATTERN(パターン) ボタン (P.12)

ピント合わせ用のパターンを表示します。

⑨ 方向ボタン

上方向ボタン(UP)▲、下方向ボタン(DOWN)▼、左方向ボタン(LEFT)◀、右方向ボタン(RIGHT)▶メニュー表示の中で項目の選択に使用します。

⑩ POWER ON(パワーオン) インジケーター

電源が入ると青く点灯します。電源を切ると、約1分間点滅し消灯します。

⑪ STANDBY(スタンバイ) インジケーター

スタンバイ時に赤く点灯します。

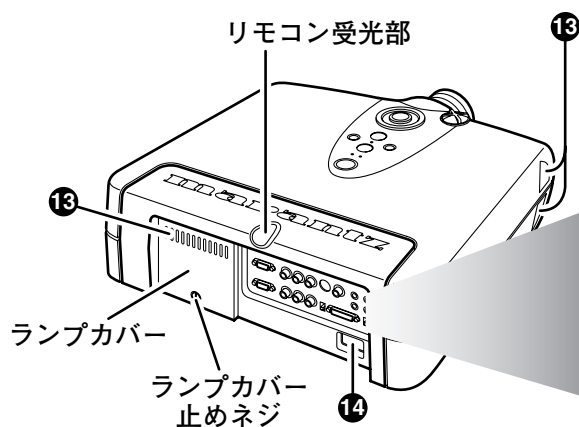
⑫ WARNING / LAMP(ワーニング/ランプ) インジケーター

故障時、点灯または点滅します。エラーモードについては、41ページの一覧表を参照してください。

⑬ 通気孔(排気孔 / 吸気孔)

- 注意**
- ・排気孔部分では熱風が出るため、手を近づけないでください。
 - ・吸気孔の前に物を置かないでください。冷却ができず安全装置が働きます。(P.2)

本体後面と端子部分



14 電源コード接続端子 (P.9)

電源コードを接続し、電源を供給します。

❖ 端子部分

1 RGB 入力端子

ビデオ機器またはパソコンのRGB出力端子と接続します。

2 コンポーネントビデオ入力1 & 2 端子

それぞれの入力端子1および2には、Y, Pb/Cb, Pr/Cr の3端子があります。ビデオ機器、AVアンプ/プロセッサーまたはDVDプレーヤーなどのコンポーネントビデオ出力と接続します。

3 Sビデオ入力端子

ビデオ機器のSビデオ出力端子と接続します。

4 ビデオ入力端子

ビデオ機器のビデオ(コンポジット)出力端子と接続します。

5 トリガー1 端子 (TRIG.1)

本機の電源の入/切(スタンバイ)と連動させ、外部機器をコントロールするときに使用します。TRIG.1出力端子は、本機が「スタンバイ」のとき0Vで、電源「入」のときに12Vを出力します。

6 リモートコントロール入出力端子

他のマランツ製品とシステムを組み、本機をコントロールするときに使用します。他のマランツ製品のREMOTE CONTROL OUTと本機のREMOTE CONTROL INを、他のマランツ製品のREMOTE CONTROL INと本機のREMOTE CONTROL OUTを接続します。

注意 ・ケーブルを接続する場合、付属のバスコントロールアダプターケーブルを必ずご使用ください。

7 リモートコントロールスイッチ

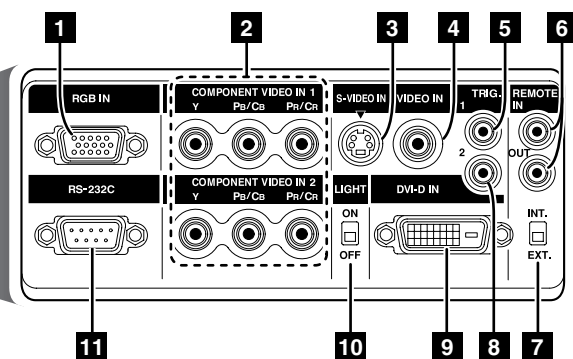
他のマランツ製品とシステムを組み、本機をコントロールするときは「EXT.」を、本機単独でご使用のときは「INT.」を選択します。

8 トリガー2 端子 (TRIG.2)

TRIG.2出力端子は、各アスペクト(フル、ノーマル、ズーム、スルー)ごとの設定に従って、12Vを出力します。設定方法は、「トリガー設定」(P.30)をお読みください。

注意 ・トリガー1とトリガー2を、電源として使用しないでください。

端子部分



9 DVI-D 入力端子

ビデオ機器またはパソコンのデジタルRGB出力端子と接続します。

注意 ・DVI-D入力端子をお使いになる場合、10ページの注意に従って操作してください。

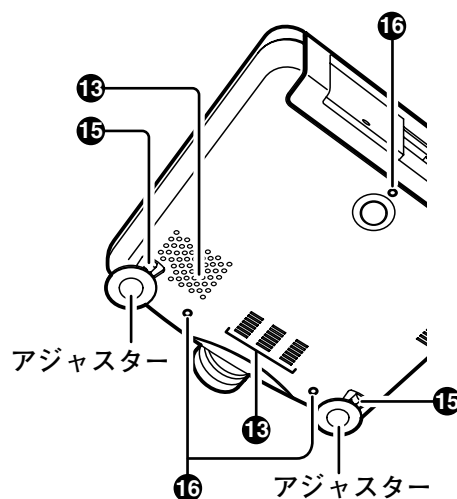
10 端子部照明スイッチ

端子部分の照明を入/切します。

11 RS-232C端子

専門業者(カスタムインストーラー)用のコントロール端子です。

本体底面

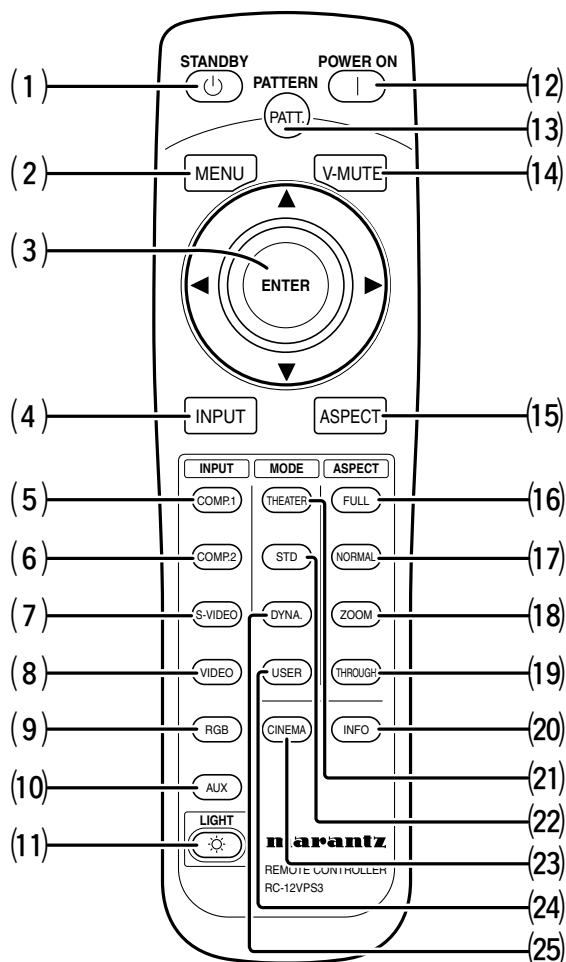


15 アジャスターレバー (P.12)

本機を持ち上げて、このレバーを右または左へ回すとアジャスターが下へ伸びます。高さ調整を行い、レバーを戻すとアジャスターが固定されます。

16 吊り金具取り付けネジ穴

本機を天井から吊るす場合に使用します。天井に設置するときは、別売の天吊り金具(MOUNT 12)と延長ポール(EXT-81)をご使用ください。



(1) **STANDBY(スタンバイ) ボタン** (☞ P.20)

本機の電源が入っているとき、スタンバイ(待機)状態にします。

(2) **MENU(メニュー) ボタン** (☞ P.22)

メニュー(※OSD画面)を表示します。
※OSD: On Screen Displayの略称です。本機の調整、設定を行うメニュー画面のことを意味します。

(3) **▲/▼/◀/▶/ENTER(方向/エンター) ボタン**

上(UP)▲、下(DOWN)▼、左(LEFT)◀、右(RIGHT)▶のいずれかの方向にボタンを押して、メニュー表示の項目を選択します。またこのボタン中央をまっすぐに押すことで、選択したメニュー項目を確定します。

(4) **INPUT(入力信号切替) ボタン** (☞ P.17)

入力信号を切り替えます。
INPUT ボタンを続けて押すと、COMPONENT 1→COMPONENT 2→S-VIDEO→VIDEO→RGB→AUXの順番で入力信号が切り替わります。

(5) **COMP. 1 (コンポーネントビデオ入力1) ボタン** (☞ P.17)

コンポーネントビデオ入力1 (COMPONENT VIDEO IN 1) を選択します。

(6) **COMP. 2 (コンポーネントビデオ入力2) ボタン** (☞ P.17)

コンポーネントビデオ入力2 (COMPONENT VIDEO IN 2) を選択します。

(7) **S-VIDEO (Sビデオ入力) ボタン** (☞ P.17)

Sビデオ入力 (S-VIDEO IN) を選択します。

(8) **VIDEO (ビデオ入力) ボタン** (☞ P.17)

ビデオ入力 (VIDEO IN) を選択します。

(9) **RGB (RGB入力) ボタン** (☞ P.17)

RGB 入力 (RGB IN) を選択します。

(10) **AUX (外部入力切替) ボタン**

DVI-D入力 (DVI-D IN) を選択します。

(11) **LIGHT (ライト) ボタン**

バックライト付ボタン (POWER ON、STANDBY、MENU、V-MUTE、INPUT、ASPECT、PATTERN) が約7秒間点灯します。

(12) **POWER ON (パワーオン) ボタン** (☞ P.17)

本機の電源をONにします。

(13) **PATT. (パターン) ボタン** (☞ P.12)

ピント合わせ用のパターンを表示します。

(14) **V-MUTE (映像ミュート) ボタン**

映像をブラック画面に切り替えます。もう一度押すと解除されます。

(15) **ASPECT (アスペクト切替) ボタン** (☞ P.17)

アスペクトを切り替えます。
ASPECT ボタンを続けて押すと、FULL→NORMAL→ZOOM→THROUGHの順番でアスペクトが切り替わります。

(16) **FULL (フルモード) ボタン** (☞ P.17)

アスペクトをフルモードに切り替えます。

(17) **NORMAL (ノーマルモード) ボタン** (☞ P.17)

アスペクトをノーマルモードに切り換えます。

(18) **ZOOM (ズームモード) ボタン** (☞ P.17)

アスペクトをズームモードに切り替えます。

(19) **THROUGH (スルーモード) ボタン** (☞ P.17)

アスペクトをスルーモードに切り換えます。

(20) **INFO. (インフォメーション) ボタン** (☞ P.32)

各種設定情報を表示します。さらにもう一度押すと表示が消えます。

(21) **THEATER (シアターモード選択) ボタン** (☞ P.22)

シアターモードを選択します。
シアターモードは、黒の再現性が考慮された、映画ソフトをお楽しみいただくときにすすめる映像モードです。
THEATER ボタンを続けて押すと、シアター1 → シアター2 → シアター3 → シアターデフォルトの順番で映像が切り替わります。

(22) STD (スタンダードモード選択) ボタン (P.22)

標準モードを選択します。
スタンダードモードは、標準的な映像をお楽しみいただける映像モードです。

STDボタンを続けて押すと、スタンダード1 → スタンダード2 → スタンダード3 → スタンダードデフォルトの順番で映像が切り替わります。

(23) CINEMA (シネマモード) ボタン

2-3プルダウン機能を入/切します。

(24) USER (ユーザーモード選択) ボタン (P.22)

ユーザーモードを選択します。
ユーザーモードは、お好みのガンマカーブで映像をお楽しみいただける映像モードです。

USERボタンを続けて押すと、ユーザーA1 → ユーザーA2 → ユーザーA3 → ユーザーB1 → ユーザーB2 → ユーザーB3 → ユーザーC1 → ユーザーC2 → ユーザーC3 の順番で映像が切り替わります。ガンマカーブの選択方法 → (P.31)

(25) DYNA. (ダイナミックモード選択) ボタン (P.22)

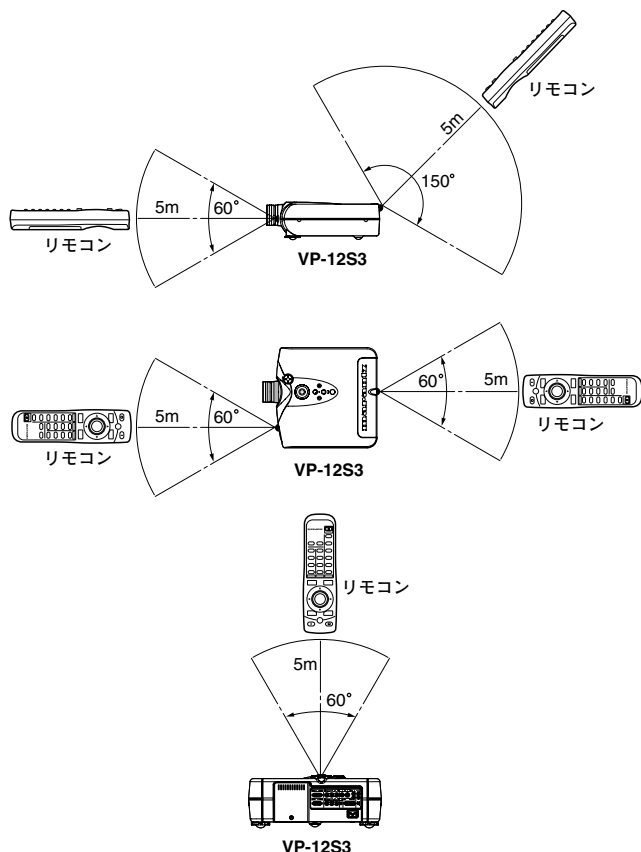
ダイナミックモードを選択します。
ダイナミックモードは、視覚的にダイナミックな映像をお楽しみいただける映像モードです。

DYNA.ボタンを続けて押すと、ダイナミック1 → ダイナミック2 → ダイナミック3 → ダイナミックデフォルトの順番で映像が切り替わります。

リモコンの操作範囲

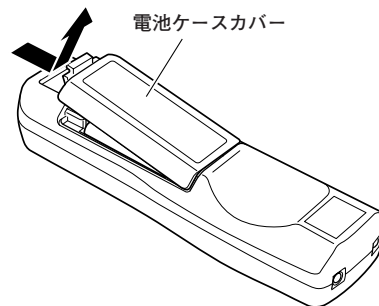
リモコンと本機の操作距離は約 5 m 以内でご使用ください。
リモコンをリモコン受光部と違う方向に向けたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、操作ができなくなる場合がありますのでご注意ください。

また、リモコン受光部に強い光が当たった場合でも、操作ができないことがあります。

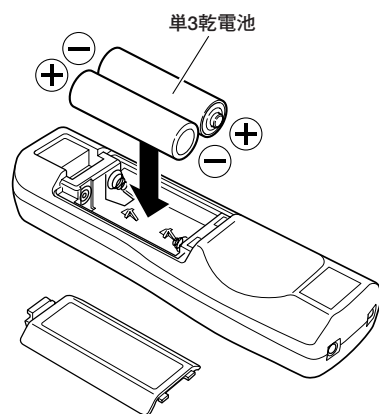


リモコンの電池の入れ方

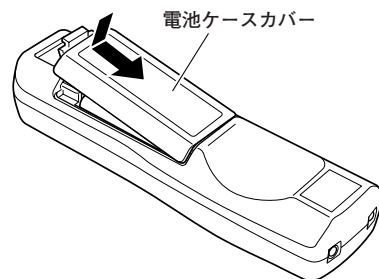
1. リモコン裏面の電池ケースカバーをはずします。



2. 単3乾電池2個を＋、－の表示にあわせて挿入します。



3. 電池ケースカバーを元通りに戻します。



注意 乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

- 乾電池はアルカリタイプ、マンガンタイプをご使用ください。ニッカド、ニッケル水素、リチウムタイプはご使用できません。
- アルカリタイプとマンガンタイプの乾電池の併用も避けてください。
- 古い乾電池と新しい乾電池の併用は避けてください。
- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- 乾電池が使いえなくなったら、すぐに取り出してください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 乾電池の＋、－の表示に合わせて挿入してください。
- 絶対に乾電池を火の中に入れないでください。

接続のしかた

❖ 接続にあたって

- ・ 接続する前に、必ず本機および接続する機器の電源を切ってください。
- ・ 接続する機器に適応した正しいケーブルをご使用ください。接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- ・ 接続するときは、プラグを端子に確実に差し込んでください。確実に差し込まないと故障の原因になります。

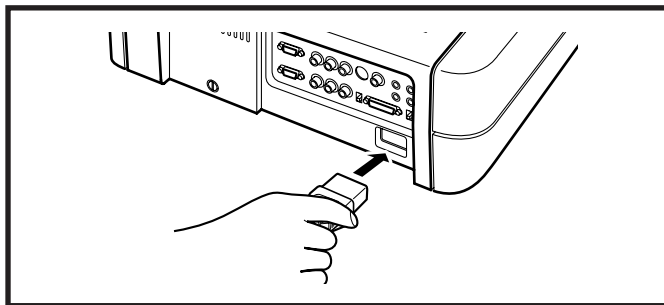
❖ ケーブルを抜く場合は

- ・ 必ずプラグをもって引き抜いてください。ケーブルをもって引き抜くとケーブルを痛め接続不良の原因になります。

電源コードの接続

付属のAC電源コードを、電源コード接続端子に差し込んで、先端のプラグをコンセントに差し込んでください。スタンバイインジケータが点灯し、スタンバイモードに入ります。

- 注意**
- ・ AC電源ケーブルが電源コード接続端子にしっかりと差し込まれていることを確認してください。
 - ・ 電源コードを接続する前に、必ずアースコードを取り付けてください。アースコードを取り外すときは、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。



ビデオ機器との接続

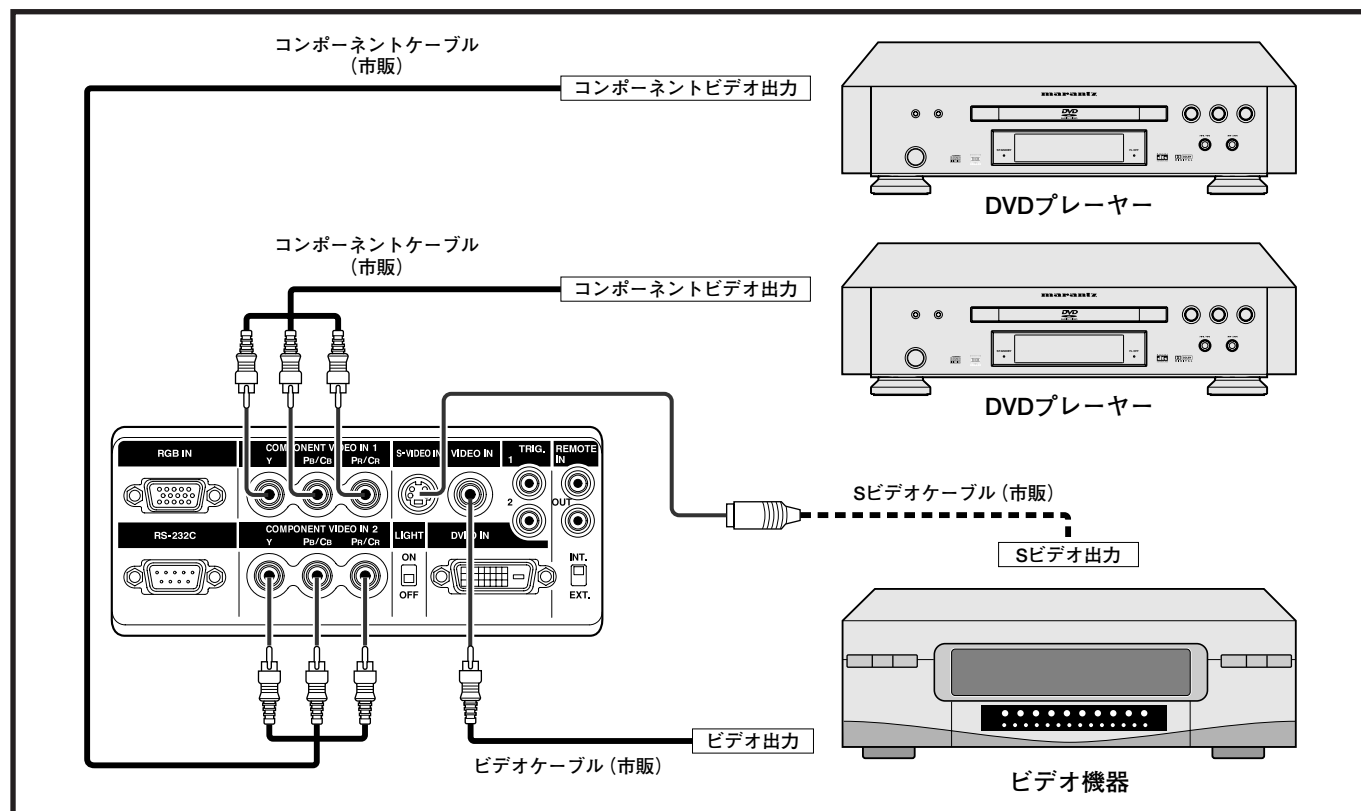
本機をビデオデッキ、DVDプレーヤ、またはその他のビデオ機器に接続します。

Sビデオまたはビデオ入力端子に、ビデオ機器を接続する場合

1. Sビデオケーブルの一方の端を本機のSビデオ入力端子に接続する、またはビデオケーブルの一方の端を本機のビデオ入力端子に接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、ビデオ機器のSビデオ出力端子またはビデオ出力端子に接続します。

コンポーネントビデオ入力1または2 端子に、DVDプレーヤーを接続する場合(同時接続可能)

1. コンポーネントビデオケーブルのピンジャックをそれぞれ、本機のコンポーネントビデオ入力端子1または2 に接続します。
2. ケーブルのもう一方のピンジャックを、DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子に接続します。



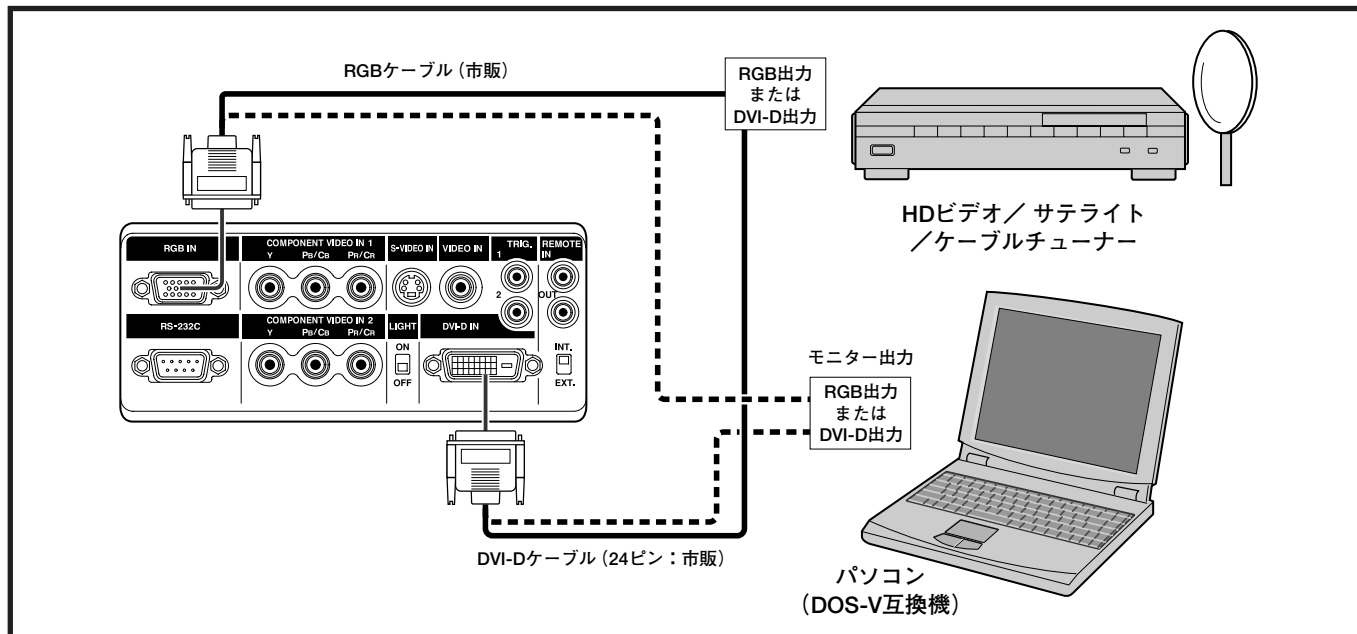
HDビデオ、サテライト、ケーブルチューナーまたはパソコンとの接続

本機のRGB入力端子に、HDビデオ、パソコンを接続できます。またDVI-D入力端子には、サテライト、ケーブルチューナー、パソコンを接続できます。

1. RGBケーブル(またはDVI-Dケーブル)の一方の端を本機のRGB入力端子(またはDVI-D入力端子)に接続します。
2. ケーブルのもう一方の端を、HDビデオ、パソコンのRGB出力端子(またはサテライト、ケーブルチューナー、パソコンのDVI-D出力端子)に接続します。

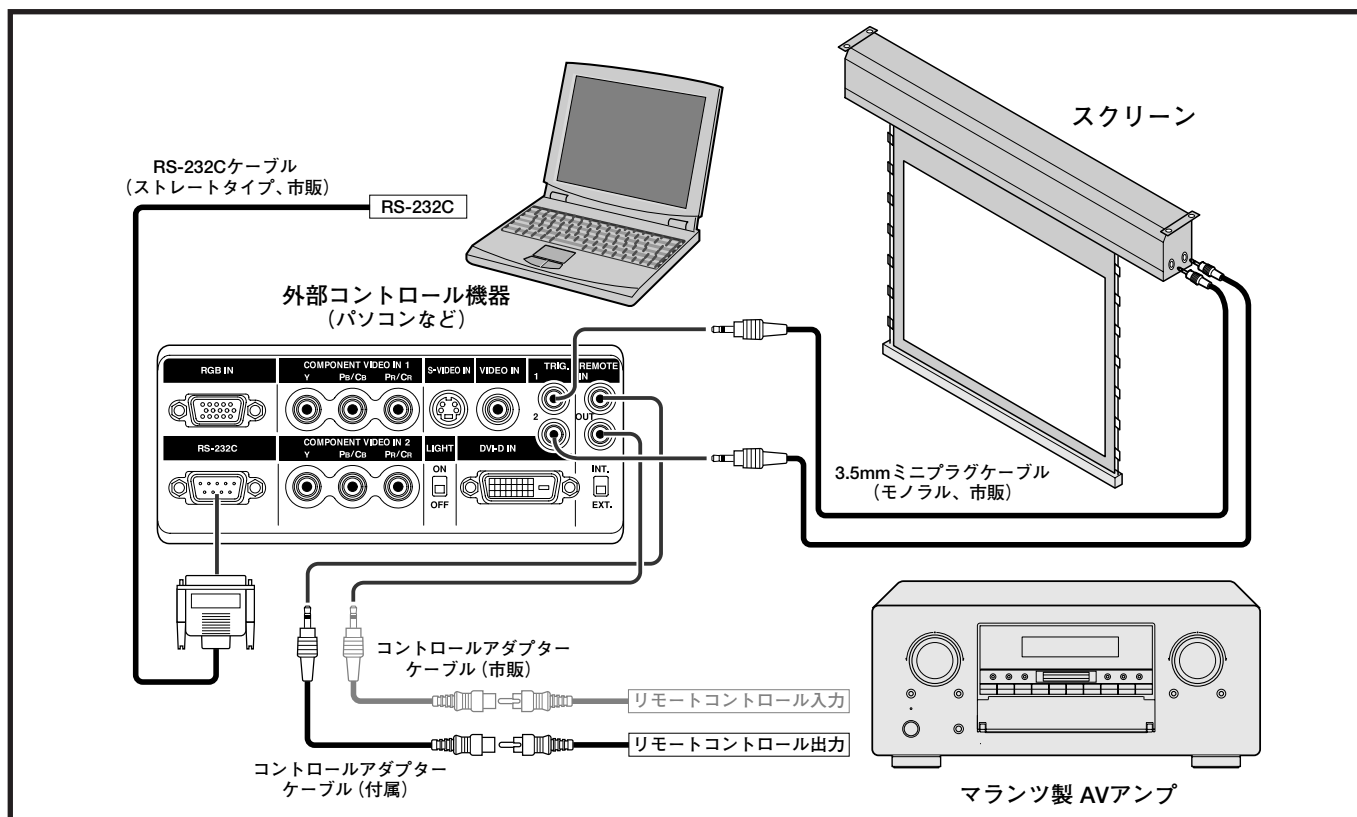
注意 DVI-D 端子に接続した機器からの映像を投射する場合、以下の手順で操作を行ってください。以下の手順を行わない場合は、映像に乱れを生じさせることがあります。本機と接続する機器のDVI-D 端子の詳細については、その取扱説明書をよく読んでください。

1. 本機の電源をONにします。
2. 本機の入力信号をAUX(DVI-D入力)にします。
3. 本機のDVI-D端子に接続している機器(DVDプレーヤーなど)の電源をONにします。



本格的なホームシアターシステムの接続

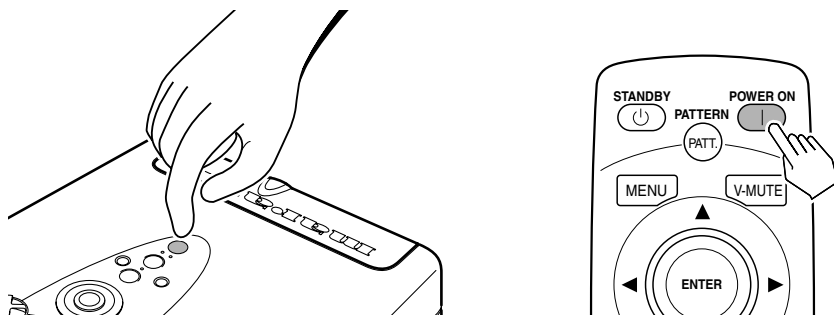
パソコンまたはマランツ製のAVアンプを使い、ホームシアターシステム全体を制御することができます。下図のようなシステムを組まれる場合は、お買い上げ販売店または当社お客様ご相談センター、各営業所にご相談ください。



ご使用前の設定

電源を入れる

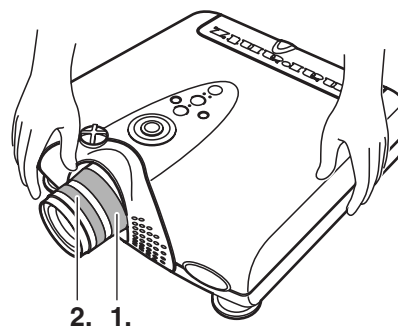
1. 付属のAC電源コードを接続してください。(P.9)
2. リモコンの**POWER ON**ボタン、または本体の**POWER**ボタンを押してください。POWER ONインジケータが点灯します。



ズームとフォーカス調整

まず、スクリーンに適当な画像を投影します。

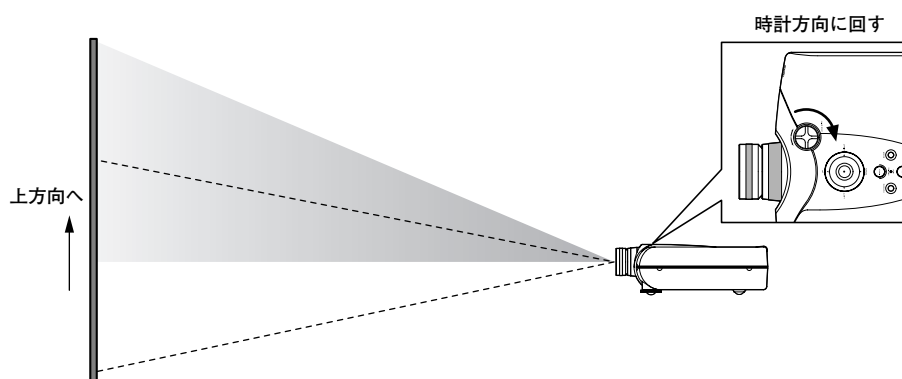
1. ズームリングを回して、投影画像の大きさを調整します。
2. フォーカスリングを回して、フォーカス(ピント)を合わせます。



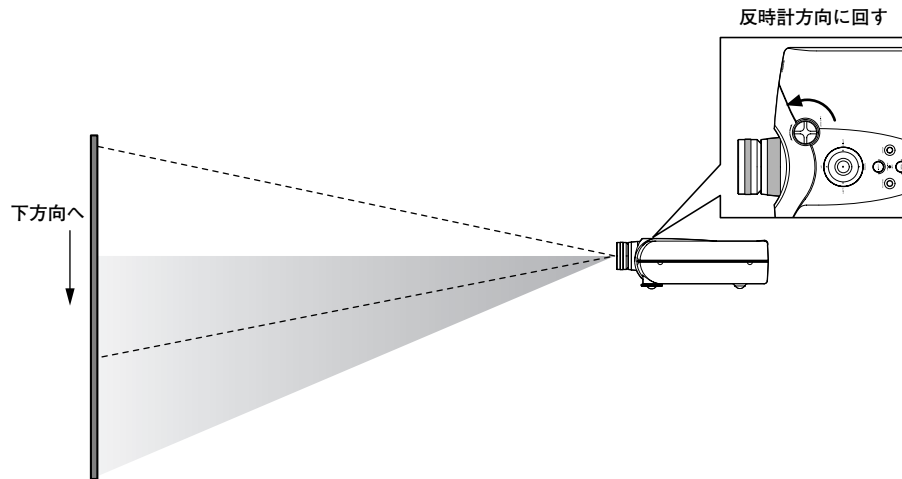
投影画像の位置を調整

投影画像の位置は、レンズシフトノブで調整できます。

❖ レンズシフトノブを時計方向に回すと、投影画像の位置が上方向へ移動します。



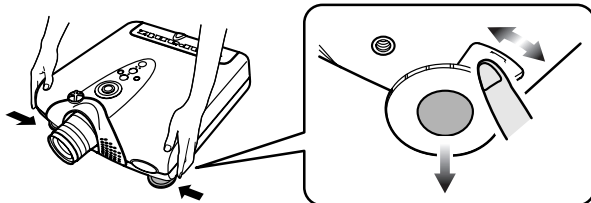
❖ レンズシフトノブを反時計方向に回すと、投影画像の位置が下方へ移動します。



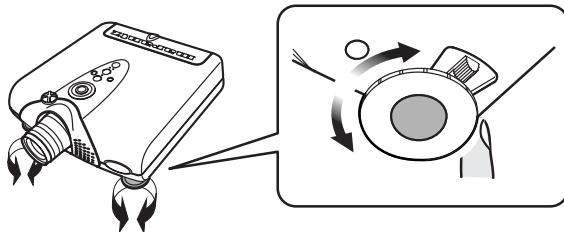
本機の高さ調節(アジャスター調整)

本機のアジャスターの高さを変えることで、投影画像の位置を調整できます。

1. アジャスターレバーを右または左にシフトし、アジャスターが動くようにします。
慎重にゆっくりと本機を上へ持ち上げてください。



2. 投影位置を決めた後、アジャスターレバーを元の位置に戻し、アジャスターを固定します。
アジャスターが固定されたことを確認し、本機から手を離してください。
3. アジャスターを回転させ、高さの微調整を行います。



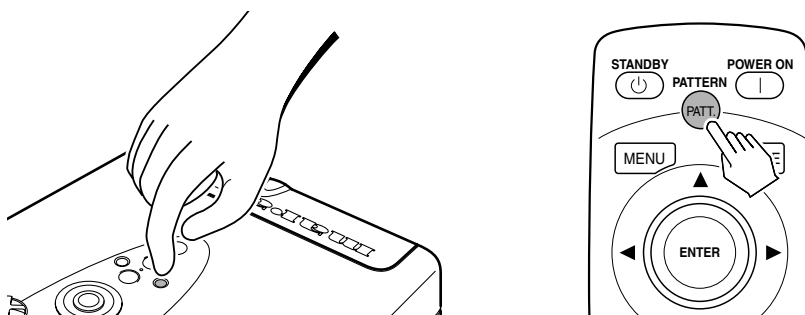
❖ アジャスターの高さを元に戻す

本機を少し持ち上げた状態で、アジャスターレバーを右または左にシフトし、ゆっくり本機を下ろしてください。

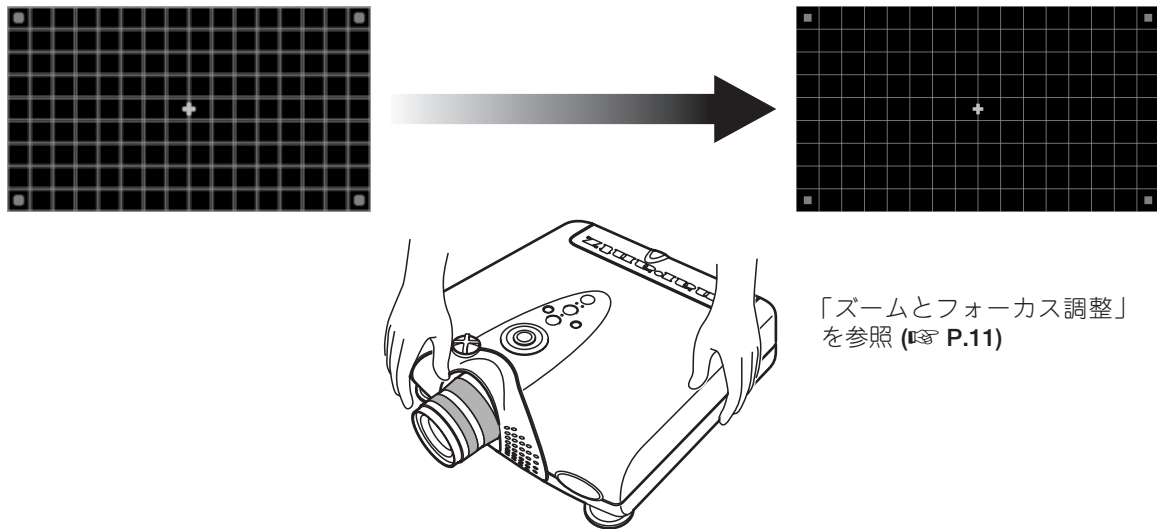
フォーカスの微調整

フォーカスパターン(ピント合わせ用テストパターン)を使い、フォーカス(ピント)の微調整ができます。

1. **PATTERN**ボタンを押して、フォーカスパターンをスクリーンに投影します。



2. フォーカスリングを回して、フォーカスを合わせます。
下図のようにフォーカスパターンが最も鮮明になるように、フォーカスリングで調整してください。

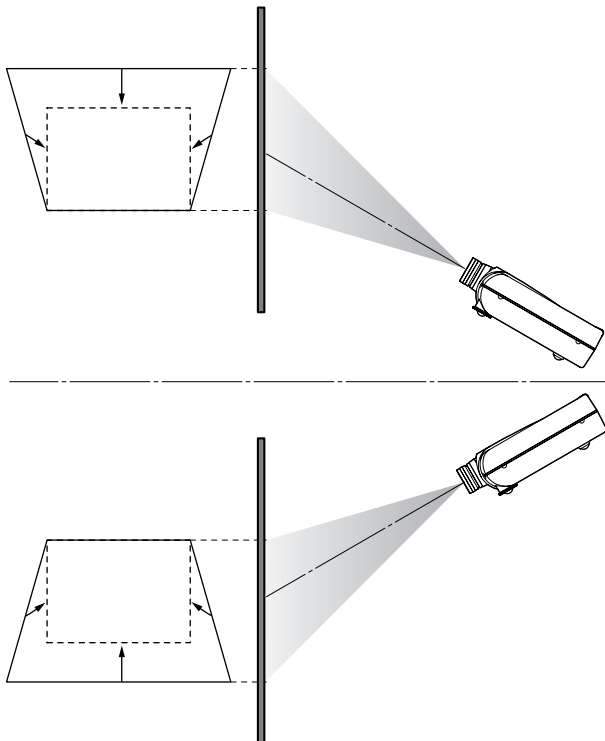


3. もう一度、**PATTERN**ボタンを押して、フォーカスパターンを消します。フォーカスの微調整は完了です。

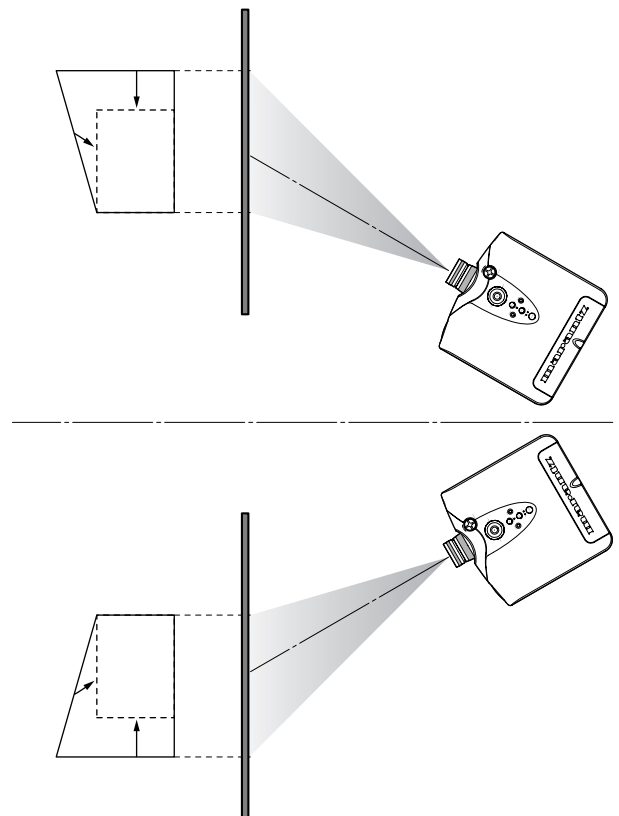
画像の台形ひずみを補正

投射した画像の形状がひずんだ場合、メニュー項目の「表示設定」にある垂直キーストン、水平キーストンを使い補正することができます。「表示設定の調整」を参照 (P.28)

❖ 垂直キーストン調整



❖ 水平キーストン調整

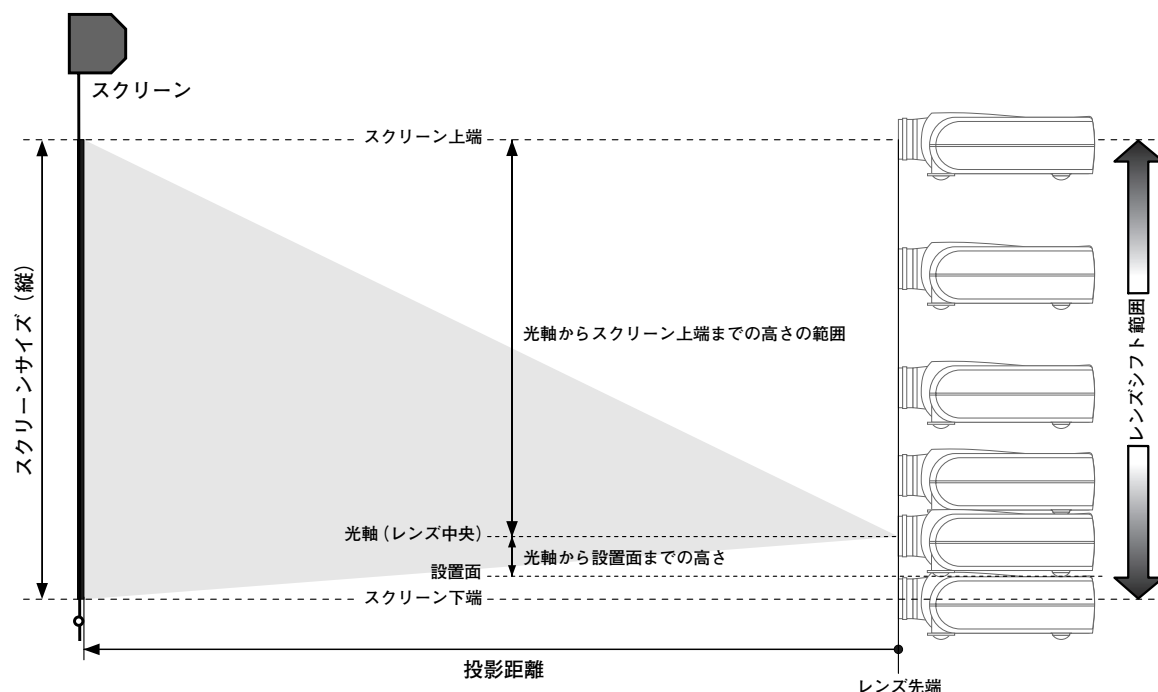


注意 水平キーストンでの補正は、レンズシフトを時計方向に回しきった状態(投射画像が上方向に最大シフトした状態)にのみ有効となります。

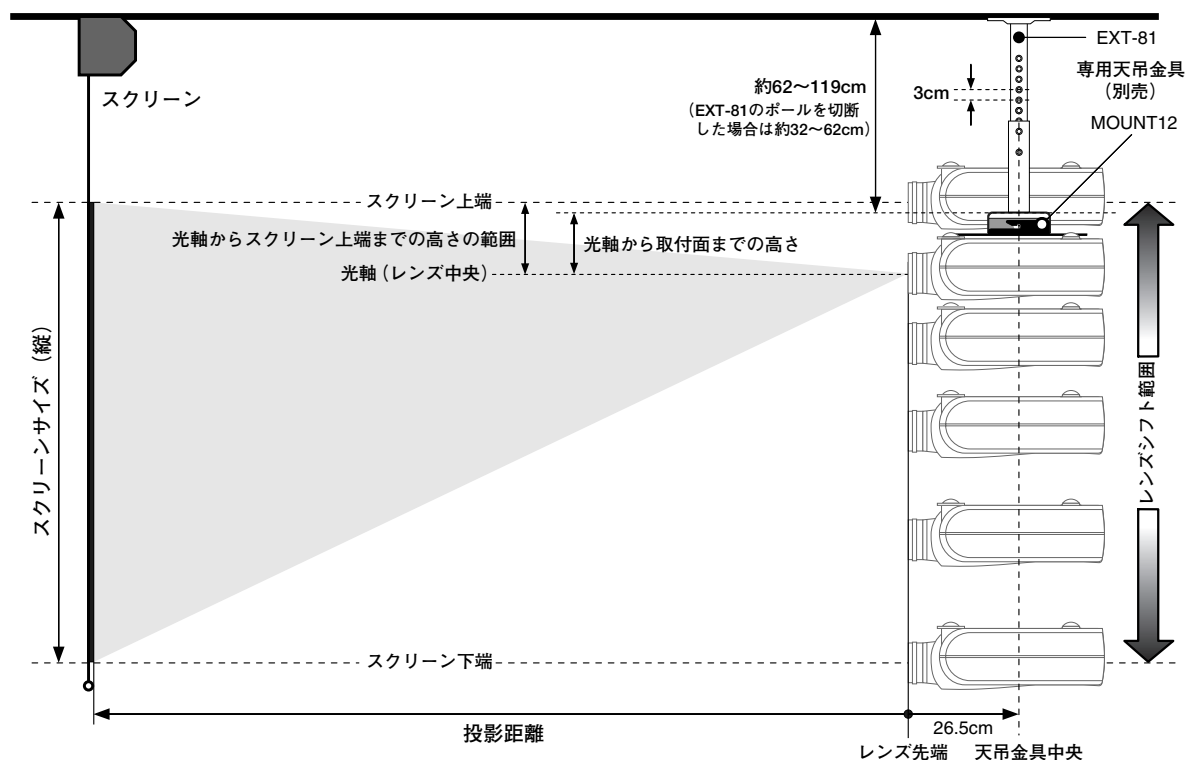
設置について

設置のしかた

❖ 卓上に設置する場合

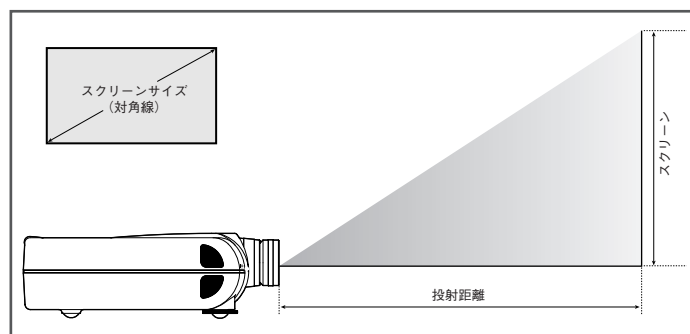


❖ 天井に設置する場合



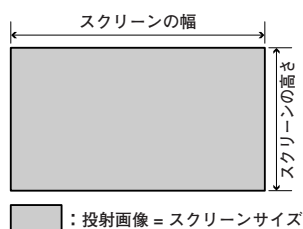
- 注意**
- ・ 本機を天井に設置する場合は、特別な技術が必要となります。安全のため、お客様自身での取り付けは行わないでください。詳しくはお買い上げ販売店または、専門の業者にご相談ください。
 - ・ 本機の電源が入っているとき、レンズをのぞかないでください。目に悪影響を与えることがあります。

スクリーンサイズと投影距離 (VP-12S3)



❖ 16:9スクリーン

16:9の投射画像を16:9のスクリーンに映す場合。

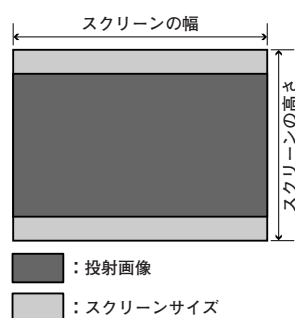


16:9 スクリーンサイズ (1.77:1 縦横比)			投射距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	m	m
40	886	498	1.28	1.49
60	1328	747	1.95	2.26
70	1550	872	2.28	2.64
72	1594	897	2.34	2.72
80	1771	996	2.61	3.03
82	1815	1021	2.68	3.11
84	1860	1046	2.74	3.18
90	1992	1121	2.94	3.41
92	2037	1146	3.01	3.49
100	2214	1245	3.27	3.80
106	2347	1320	3.47	4.03
110	2435	1370	3.61	4.18
120	2657	1494	3.94	4.57
123	2723	1532	4.04	4.68
133	2944	1656	4.37	5.07
135	2989	1681	4.44	5.14
150	3321	1868	4.93	5.72
170	3763	2117	5.60	6.49
200	4428	2491	6.59	7.64
250	5535	3113	8.25	9.57

投射距離の計算方法 (単位: m)
 最小 = (33.21 x スクリーンサイズ - 47.6) ÷ 1000
 最大 = (38.46 x スクリーンサイズ - 47.6) ÷ 1000
 注意: 設置する場合、上記表の投射距離に 5%の誤差があることを考慮してください。

❖ 4:3スクリーン

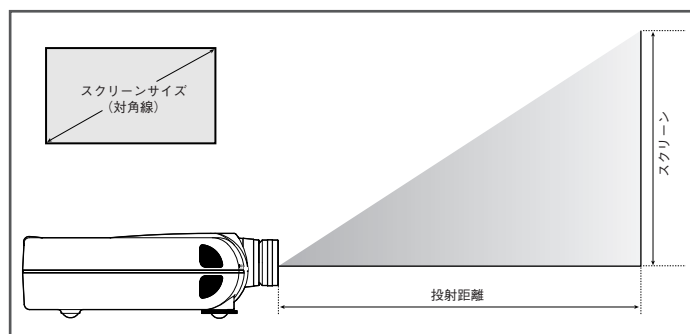
16:9の投射画像を4:3のスクリーンに映す場合。



4:3 スクリーンサイズ (1.33:1 縦横比)			投射距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	m	m
40	813	610	1.17	1.36
60	1219	914	1.78	2.07
70	1422	1067	2.09	2.42
72	1463	1097	2.15	2.49
80	1626	1219	2.39	2.78
84	1707	1280	2.51	2.92
90	1829	1372	2.70	3.13
100	2032	1524	3.00	3.48
110	2235	1676	3.31	3.84
120	2438	1829	3.61	4.19
150	3048	2286	4.53	5.25
170	3454	2591	5.14	5.96
180	3658	2743	5.44	6.31
200	4064	3048	6.05	7.01
250	5080	3810	7.57	8.78

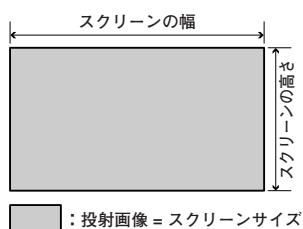
投射距離の計算方法 (単位: m)
 最小 = (30.49 x スクリーンサイズ - 47.6) ÷ 1000
 最大 = (35.31 x スクリーンサイズ - 47.6) ÷ 1000
 注意: 設置する場合、上記表の投射距離に 5%の誤差があることを考慮してください。

スクリーンサイズと投影距離 (VP-12S3L)



❖ 16:9スクリーン

16:9の投射画像を16:9のスクリーンに映す場合。

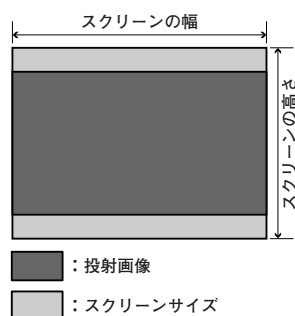


16:9 スクリーンサイズ (1.77:1 縦横比)			投影距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	mm	mm
40	886	498	1,995	2,720
60	1328	747	3,020	4,107
70	1550	872	3,533	4,801
72	1594	897	3,635	4,940
80	1771	996	4,045	5,495
82	1815	1021	4,148	5,634
84	1860	1046	4,250	5,772
90	1992	1121	4,558	6,189
92	2037	1146	4,660	6,327
100	2214	1245	5,070	6,882
106	2347	1320	5,378	7,299
110	2435	1370	5,583	7,576
120	2657	1494	6,096	8,270
123	2723	1532	6,249	8,478
133	2944	1656	6,762	9,172
135	2989	1681	6,865	9,311
150	3321	1868	7,633	10,351
170	3763	2117	8,659	11,739
200	4428	2491	10,196	13,820
250	5535	3113	12,759	17,289

投影距離の計算方法 (単位: m)
 最小 = (33.21 x スクリーンサイズ - 47.6)
 最大 = (38.46 x スクリーンサイズ - 47.6)
 注意: 設置する場合、上記表の投影距離に 5%の誤差があることを考慮してください。

❖ 4:3スクリーン

16:9の投射画像を4:3のスクリーンに映す場合。



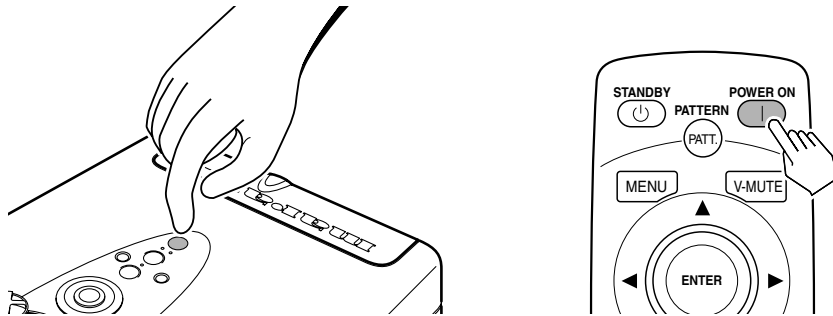
4:3 スクリーンサイズ (1.33:1 縦横比)			投影距離	
対角距離	幅	高さ	最小	最大
インチ	mm	mm	mm	mm
40	813	610	1,827	2,492
60	1219	914	2,768	3,766
70	1422	1067	3,239	4,403
72	1463	1097	3,333	4,531
80	1626	1219	3,709	5,040
84	1707	1280	3,897	5,295
90	1829	1372	4,180	5,677
100	2032	1524	4,650	6,314
110	2235	1676	5,121	6,951
120	2438	1829	5,592	7,588
150	3048	2286	7,003	9,499
170	3454	2591	7,945	10,773
180	3658	2743	8,415	11,410
200	4064	3048	9,356	12,684
250	5080	3810	11,709	15,869

投影距離の計算方法 (単位: m)
 最小 = (30.49 x スクリーンサイズ - 47.6)
 最大 = (35.31 x スクリーンサイズ - 47.6)
 注意: 設置する場合、上記表の投影距離に 5%の誤差があることを考慮してください。

基本的な使いかた

電源を入れる

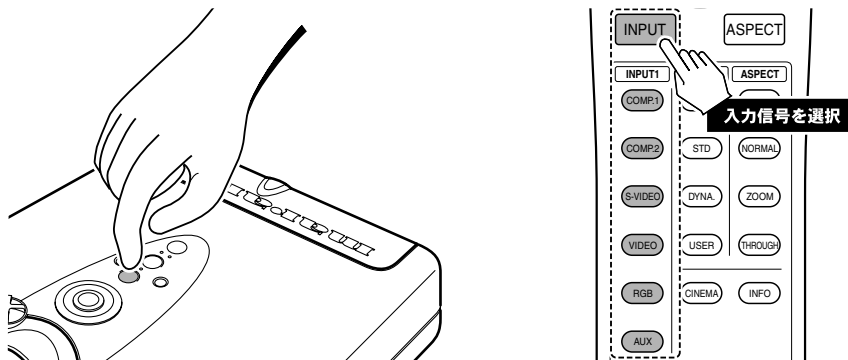
リモコンの**POWER ON**ボタン、または本体の**POWER**ボタンを押してください。POWER ONインジケータが点灯します。



入力信号を選択する

本機に接続された入力信号を選択します。

本機の**INPUT**ボタンまたはリモコンの**INPUT**ボタンを続けて押すと、COMPONENT1→COMPONENT2→S-VIDEO→VIDEO→RGB→AUXの順番で入力信号が切り替わります。またリモコンの**COMP.1**ボタン、**COMP.2**ボタン、**S-VIDEO**ボタン、**VIDEO**ボタン、**RGB**ボタン、**AUX**ボタンのいずれかを直接押すことで入力信号を切り替えられます。

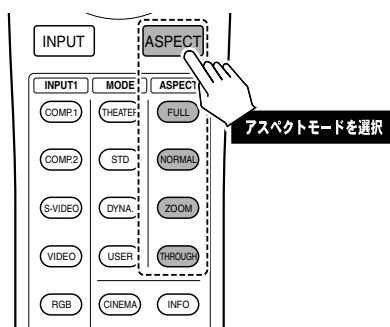


アスペクト(縦横比)モードを選択する

リモコンを使い、投影画像のアスペクト(縦横比)モードを4種類の中から選択できます。

リモコンの**ASPECT**ボタンを続けて押すと、FULL→NORMAL→ZOOM→THROUGHの順番でアスペクトが切り替わります。

またリモコンの**FULL**ボタン、**NORMAL**ボタン、**ZOOM**ボタン、**THROUGH**ボタンのいずれかを直接押すことで入力信号を切り替えられます。またメニュー画面から選択することもできます。(P.26)

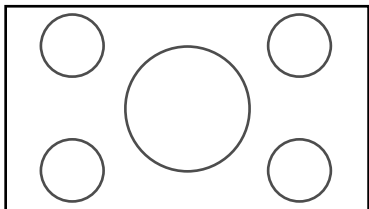


16：9スクリーンをご使用の場合

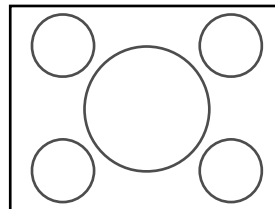
- アスペクト比4：3のビデオソースを投影する場合、ズーム、ノーマル、フルの各モードでご使用ください。
- 1080i、1035i、720pのような、アスペクト比16：9 のビデオソースを投影する場合、フルモードでご使用ください。
- スクイーズ信号はフルモードでご使用ください。
「画面設定をする」を参照 (P.26)

❖ オリジナル画像

アスペクト比 16：9 ビデオソース

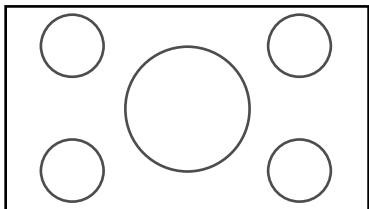


アスペクト比 4：3 ビデオソース

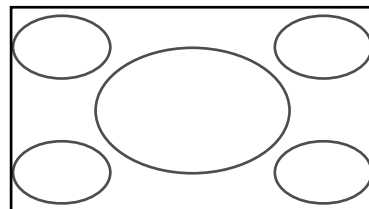


❖ フルモード

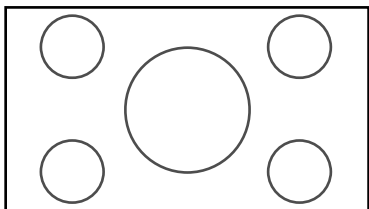
16：9の横長の画像が正確な縦横比で投影されます。



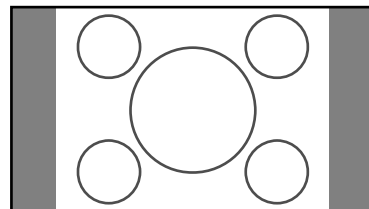
4：3の画像が横に引き伸ばされて投影されます。



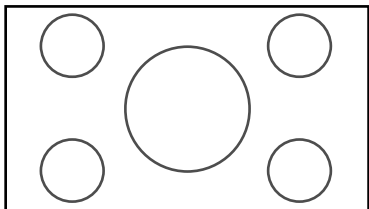
❖ ノーマルモード



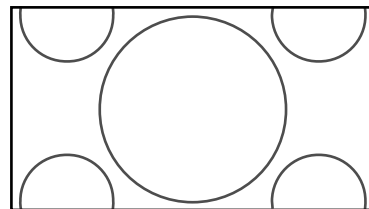
4：3の画像が正確な縦横比で投影されます。



❖ ズームモード

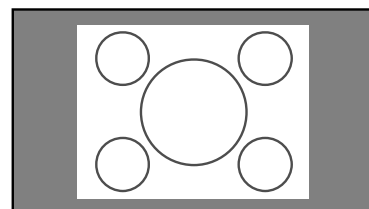
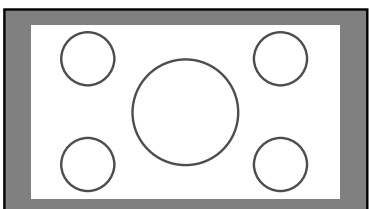


4：3の画像の縦横比は変わらず、縦と横方向にスクリーンの大きさまで拡大されます。



❖ スルーモード

走査線が720以下の RGB／ビデオ信号と同じ解像度で画像が表示されます。

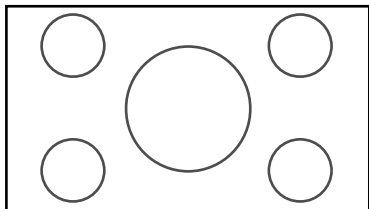


4：3スクリーンをご使用の場合

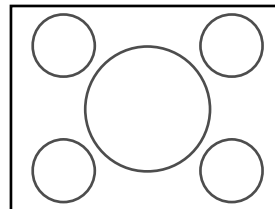
- アスペクト比4：3のビデオソースを投影する場合、ズーム、ノーマル、フルの各モードでご使用ください。
- 1080i、1035i、720pのような、アスペクト比16：9のビデオソースを投影する場合、フルモードでご使用ください。
- スクイーズ信号はフルモードでご使用ください。
「画面設定をする」を参照 (P.26)

❖ オリジナル画像

アスペクト比 16：9 ビデオソース

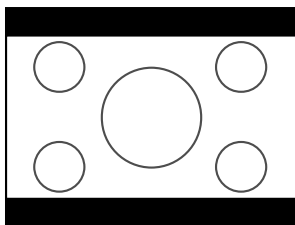


アスペクト比 4：3 ビデオソース

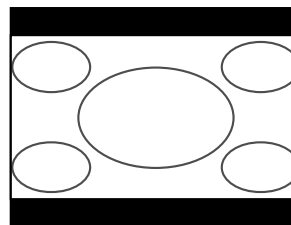


❖ フルモード

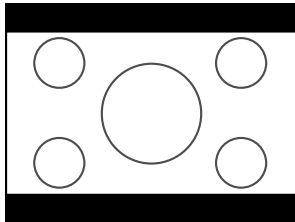
16：9の横長の画像が正確な縦横比で投影されます。



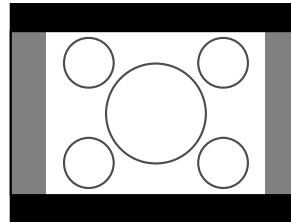
4：3の画像が横に引き伸ばされて投影されます。



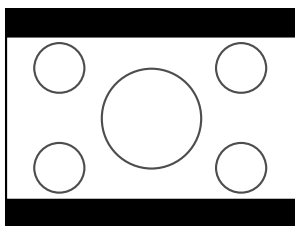
❖ ノーマルモード



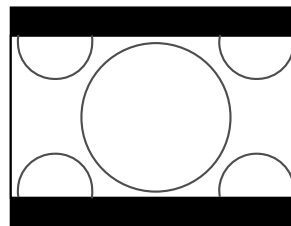
4：3の画像が正確な縦横比で投影されます。



❖ ズームモード

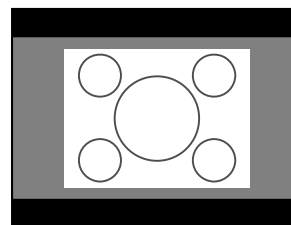
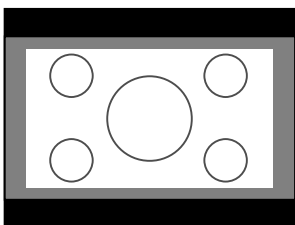


4：3の画像の縦横比は変わらず、縦と横方向にスクリーンの大きさまで拡大されます。



❖ スルーモード

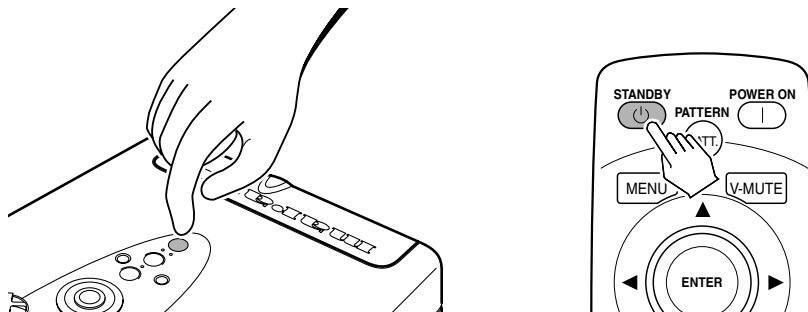
走査線が720以下の RGB／ビデオ信号と同じ解像度で画像が表示されます。



電源を切る

1. リモコンの **STANDBY**ボタン、または本機の**POWER**ボタンを押します。
2. 約1分間ファンが動作し本機内部を冷却します。この間、本機のパワーインジケータが青く点滅し、本機ボタンおよびリモコンボタンの操作を受け付けません。ファンが停止した後、パワーインジケータの点滅は消え、本機はスタンバイ状態になり、スタンバイインジケータが点灯します。

注意 スタンバイ状態になるまでファンが動作し、内部を冷却します。本機がスタンバイ状態になるまで、電源コードは抜かないでください。

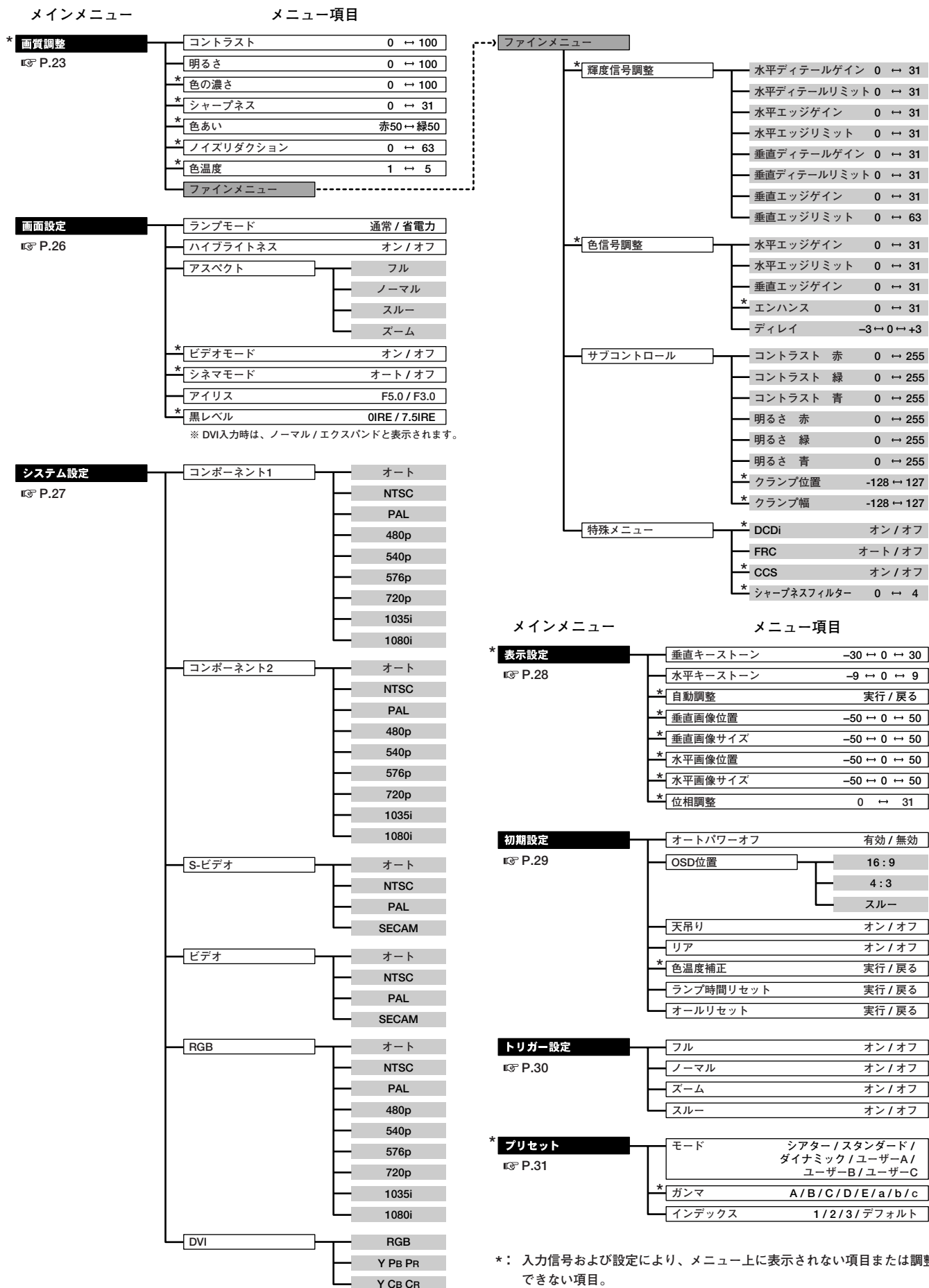


注意 電源「入」の状態、電源コードを抜かないでください。故障の原因になります。

- ・ワーニングインジケータが赤色に点灯または点滅したときは、ファンが停止したことを確認して電源コードをコンセントから抜いてください。
- ・電源を切った直後に、本機の**POWER**ボタンまたはリモコンの**POWER ON**ボタンを押しても、電源は入りません。スタンバイ状態になったことを確認してから本機の**POWER**ボタンまたはリモコンの**POWER ON**ボタンを押してください。
- ・本機のスタンバイ状態は完全に電源が切れた状態ではありません。長時間使用しない場合は、上記に従って電源コードをコンセントから抜いてください。

メニューの使いかた

メニューの構成



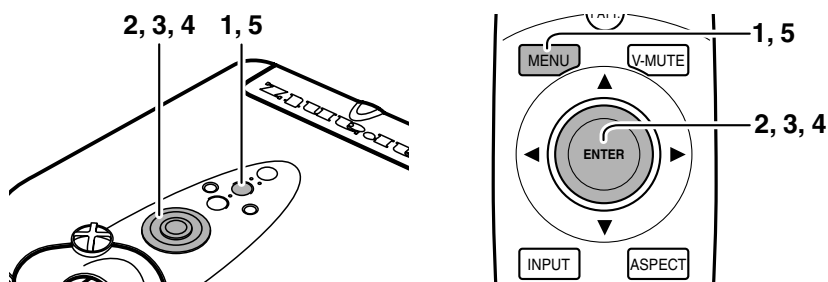
メニューの操作方法

本機はメニューを使い簡単に各種の調整、設定をすることができます。

1. **MENU**ボタンを押してください。メニュー画面が表示されます。



2. ▲ / ▼ ボタンを使い、設定または調整したいメインメニュー(画質調整、画面設定、システム設定、表示設定、初期設定、トリガー設定、プリセット)を選択し ► ボタンを押します。
3. 次に▲ / ▼ ボタンを使い、設定または調整したいメニュー項目を選択し ► ボタンを押します。
4. ▲ / ▼ / ◀ / ▶ ボタンを使い、各メニュー項目の設定または調整を行います。
 ・各メニュー項目の設定および調整の内容は、メニュー画面のメニュー項目右側に全て表示されています。
5. メニューを終了するには、もう一度**MENU**ボタンを押します。メニュー画面が消えます。



❖ 映像モードおよびメモリーについて

本機は、投影する映像モードにシアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザーA、ユーザーB、ユーザーC の6種類を用意しています。リモコンの**THEATER**ボタン、**STD**ボタン、**DYNA.**ボタン、**USER**ボタンを使ってお選びください。また各映像モードには、お好みの画質調整をメモリーできるインデックスが3つあります。

映像モード	インデックス
シアター	1, 2, 3, デフォルト
スタンダード	1, 2, 3, デフォルト
ダイナミック	1, 2, 3, デフォルト
ユーザーA	1, 2, 3
ユーザーB	1, 2, 3
ユーザーC	1, 2, 3

上記の表の通り、インデックス1, 2, 3にはお好みの画質調整をしてメモリーしてください。
 「メモリーを選ぶ」を参照 (P.31)

画質調整をする

各映像モードの画質をお好みに合わせて調整することができます。画質の調整内容はメモリーされます。本機では各映像モードに3つのインデックス(1, 2, 3)が用意されています。

❖ ビデオ信号入力の際は、以下の調整ができます。

メニュー項目	調整範囲
コントラスト	0 ←→ 100 弱い 強い
明るさ	0 ←→ 100 暗い 明るい
色の濃さ	0 ←→ 100 薄い 濃い
シャープネス	0 ←→ 31 ソフト シャープ
色あい	赤50 ←→ 緑50 紫 緑
ノイズリダクション	0 ←→ 63 弱い 強い
色温度	1 2 3 4 5 赤 ←→ 青

- 注意**
- PALおよびコンポーネントでは、「色あい」を調整することができません。
 - インデックスの設定がデフォルトになっていると画質調整を選択できません。画質調整をするには、インデックスを1～3のいずれかに設定してください。「メモリーを選ぶ」を参照 (P.31)

－ コントラスト



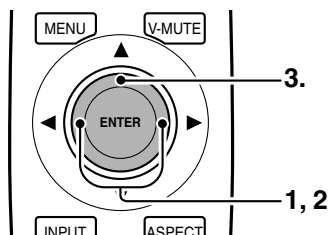
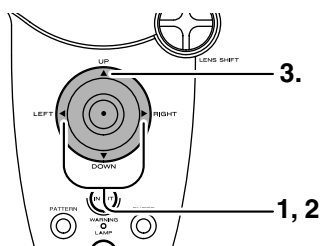
－ 色温度

- 1: 赤味が強くなります。色温度は約5250Kです。
- 2: 赤味がやや強くなります。色温度は約5800Kです。
- 3: 普通。色温度は約6500Kです。
- 4: 青みがやや強くなります。色温度は約7500Kです。
- 5: 青みが強くなります。色温度は約9300Kです。



❖ 画質調整メニューの操作

1. 調整したいメニュー項目を選び ▶ ボタンを押します。
このとき調整バーが表示されます。
2. ◀/▶ ボタンを押して調整します。
3. ▲ ボタンを押すと調整内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。

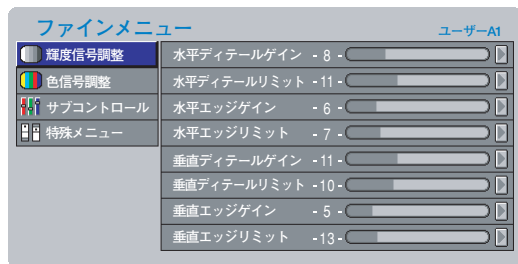


微調整をする（ファインメニュー）

このファインメニューを使うと、画質の微調整ができます。

注意 ・入力信号によっては、調整できない項目があります。

❖ 輝度信号調整



メニュー項目	調整範囲
水平ディテールゲイン	0 ↔ 31
水平ディテールリミット	0 ↔ 31
水平エッジゲイン	0 ↔ 31
水平エッジリミット	0 ↔ 31
垂直ディテールゲイン	0 ↔ 31
垂直ディテールリミット	0 ↔ 31
垂直エッジゲイン	0 ↔ 31
垂直エッジリミット	0 ↔ 63

－ 水平ディテールゲイン

：輝度における細部表現の強調度を水平方向に調整できます。

－ 水平ディテールリミット

：輝度における微少信号のゲイン(利得)が効く信号レベルを水平方向に調整できます。

－ 水平エッジゲイン

：輝度における輪郭強調のレベルを水平方向に調整できます。

－ 水平エッジリミット

：輝度における輪郭強調のゲイン(利得)が効く信号レベルを水平方向に調整できます。

－ 垂直ディテールゲイン

：輝度における細部表現の強調度を垂直方向に調整できます。

－ 垂直ディテールリミット

：輝度における微少信号のゲイン(利得)が効く信号レベルを垂直方向に調整できます。

－ 垂直エッジゲイン

：輝度における輪郭強調のレベルを垂直方向に調整できます。

－ 垂直エッジリミット

：輝度における輪郭強調のゲイン(利得)が効く信号レベルを垂直方向に調整できます。

注意 :画質調整のシャープネスは、上記項目の全体的なゲインになります。もし輝度信号調整の効果が小さい場合、シャープネスの調整値を上げてください。

❖ 色信号調整



メニュー項目	調整範囲
水平エッジゲイン	0 ↔ 31
水平エッジリミット	0 ↔ 31
垂直エッジゲイン	0 ↔ 31
エンハンス	0 ↔ 31
ディレイ	-3 ↔ 0 ↔ +3

－ 水平エッジゲイン

：色信号における輪郭強調のゲイン(利得)を水平方向に調整できます。

－ 水平エッジリミット

：色信号における輪郭強調のゲイン(利得)が効く信号レベルを水平方向に調整できます。

－ 垂直エッジゲイン

：色信号における輪郭強調のゲイン(利得)を垂直方向に調整できます。

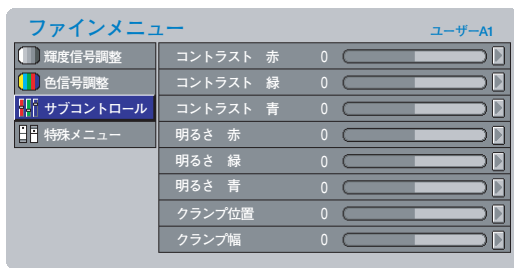
－ エンハンス

：色信号における輪郭強調の全体的なレベルを調整できます。

－ ディレイ

：輝度信号に対する色差信号の遅延時間を調整できます。

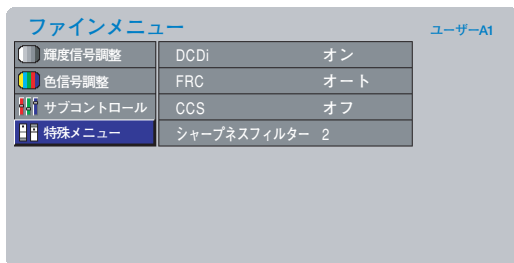
❖ サブコントロール(色別調整)



メニュー項目	調整範囲
コントラスト赤	0 ◀────────▶ 255
コントラスト緑	0 ◀────────▶ 255
コントラスト青	0 ◀────────▶ 255
明るさ赤	0 ◀────────▶ 255
明るさ緑	0 ◀────────▶ 255
明るさ青	0 ◀────────▶ 255
クランプ位置	-128 ◀────────▶ 127
クランプ幅	-128 ◀────────▶ 127

- コントラスト赤
: 赤色のコントラストが調整できます。
- コントラスト緑
: 緑色のコントラストが調整できます。
- コントラスト青
: 青色のコントラストが調整できます。
- 明るさ赤
: 赤色の明るさが調整できます。
- 明るさ緑
: 緑色の明るさが調整できます。
- 明るさ青
: 青色の明るさが調整できます。
- クランプ位置
: RGB入力時のクランプ位置が調整できます。
- クランプ幅
: RGB入力時のクランプ幅が調整できます。

❖ 特殊メニュー



メニュー項目	調整範囲
DCDi	オン ◀────────▶ オフ
FRC	オート ◀────────▶ オン
CCS	オン ◀────────▶ オフ
シャープネスフィルター	0 ◀────────▶ 4

- DCDi
: DCDi機能のオン/オフを設定することができます。
- FRC (フレームレート変換)
オート: フレームレート変換機能は通常オフとなります。ただし入力信号の垂直同期信号によってはオンになります。
オン: フレームレート変換機能をオンにすると、全ての入力信号が60Hzに変換されます。
- CCS (Cross Color Suppressor Function)
オン: 色ノイズ低減機能がオンになります。
オフ: 色ノイズ低減機能がオフになります。プログレッシブスキャンDVDプレーヤーなどの、クロスカラーを含まない入力信号の場合は、このモードをご使用ください。
- シャープネスフィルター
: DVI、RGBの映像の鮮鋭感を調整できます。

画面設定をする

次の設定を行うことができます。



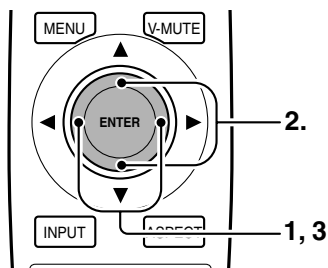
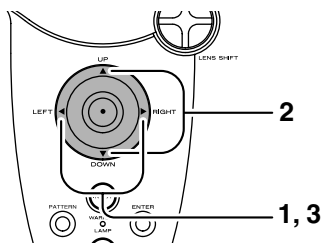
ランプモード	通常, 省電力
ハイブライトネス	オン, オフ オン: 映像の明るさを最大にします。
アスペクト	フル, ノーマル, ズーム, スルー
ビデオモード	オン, オフ
シネマモード	オート, オフ シネマモード: 2-3プルダウン (NTSC)、 2-2プルダウン (PAL)。
アイリス	F5.0, F3.0 レンズ絞り値を設定します。 F5.0: コントラストを優先するときに使用します。 F3.0: 明るさを優先するときに使用します。
黒レベル	0IRE, 7.5IRE ノーマル, エクスパンド (DVI入力時) 映像の入力信号に応じた黒のレベルを調整します。

ビデオモード

- オン: ビデオ再生または弱電波のテレビ信号を入力した場合、オフ状態で画像が安定しないときにこのモードをオン状態にします。画像が安定します。
- オフ: 通常はこのモードでご使用ください。

❖ 画面設定メニューの操作

- 設定したいメニュー項目を選び ► ボタンを押します。
このとき設定項目が表示されます。
- ▲ / ▼ ボタンを押して設定します。
- ◀ ボタンを押すと設定内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。



システム設定をする

次の設定を行うことができます。



コンポーネント1	オート, NTSC, PAL, 480p, 540p, 576p, 720p, 1035i, 1080i
コンポーネント2	オート, NTSC, PAL, 480p, 540p, 576p, 720p, 1035i, 1080i
S-ビデオ	オート, NTSC, PAL, SECAM
ビデオ	オート, NTSC, PAL, SECAM
RGB	オート, NTSC, PAL, 480p, 540p, 576p, 720p, 1035i, 1080i
DVI	RGB, YP _B P _R , YC _B C _R DVI入力に対する色空間変換の選択。 RGB：色空間変換は行われません。 YP _B P _R ：720p、1080iなどの高品位テレビ信号に有効です。 YC _B C _R ：480p、480iなどの標準テレビ信号に有効です。

NTSC(NTSC-3.58)

：主に日本、アメリカ、カナダ、台湾、韓国で使用されている放送形式です。

PAL(PAL-4.43)

：主にイギリス、ドイツで使用されている放送形式です。

SECAM

：主にフランス、ロシアで使用されている放送形式です。

480p

：通常のデジタル放送で使用されている放送形式です。

540p

：特別なデジタル放送で使用されている形式です。(例：RCA DTC100)

576p

：通常のデジタル放送で使用されている放送形式です。

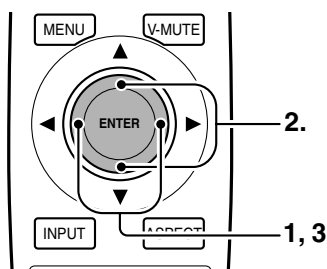
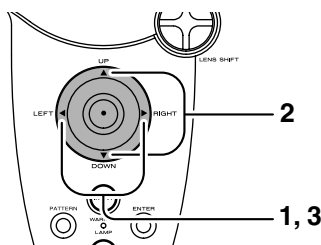
720p, 1080i：HDデジタル放送で使用されている放送形式です。

1035i

：日本の“Hi-Vision”で使用されている放送形式です。

❖ システム設定メニューの操作

1. 設定したいメニュー項目を選び ▶ ボタンを押します。
このとき設定項目が表示されます。
2. ▲ / ▼ ボタンを押して設定します。
3. ◀ ボタンを押すと設定内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。



表示設定の調整

次の設定を行うことができます。



選択できる項目	調整範囲
垂直キーストーン	▽ ↔ ▽
水平キーストーン	◁ ↔ ▷
自動調整	Yes / No
垂直画像位置	下 ↔ 上
垂直サイズ	小さい ↔ 大きい
水平画像位置	左 ↔ 右
水平サイズ	小さい ↔ 大きい
位相調整	後退 ↔ 前進

－ 垂直／水平キーストーン

投射した画像の台形ひずみを補正します。

－ 自動調整

RGB入力時は、「画面設定」の RGBシステムをオートで使用してください。

Yes: RGB入力時、垂直／水平画像位置、垂直／水平サイズ および 位相調整の調整項目が自動で調整されます。

No : 画像が自動調整しきれないときは、“戻る”を選び垂直／水平画像位置、垂直／水平サイズ および 位相調整の調整を行ってください。

◀/▶ を押して“実行”を選び、**ENTER**ボタンを押します。

－ 垂直／水平画像位置

画像の位置を移動します。垂直画像位置では縦方向(上下)に移動することができます。水平画像位置では横方向(左右)に移動することができます。

－ 垂直／水平サイズ

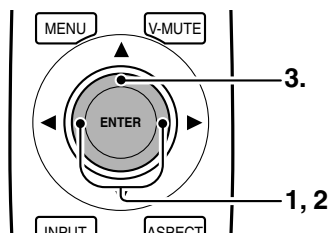
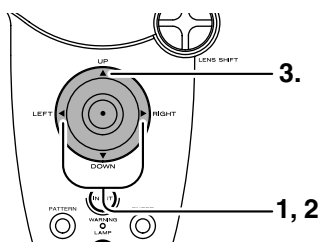
画像の縦サイズおよび横サイズを調整します。

－ 位相調整

コンピューター機器からのアナログ RGB信号の位相および DMD™素子の位相を調整します。画像が一番クリアに見えるように調整します。

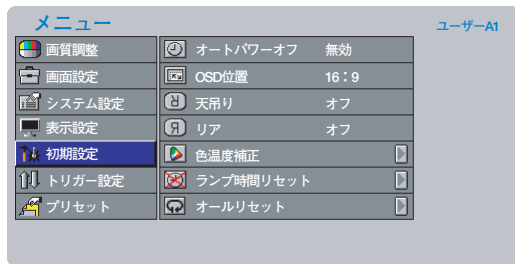
❖ 表示設定メニューの操作

- 調整したいメニュー項目を選び ▶ ボタンを押します。
このとき調整バーが表示されます。
- ◀/▶ ボタンを押して調整します。
- ▲ ボタンを押すと調整内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。



初期設定をする

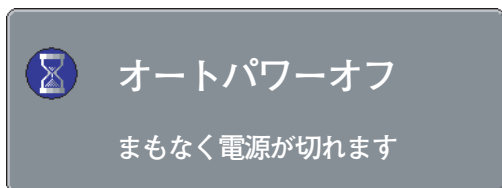
次の設定を行うことができます。



オートパワーオフ	有効, 無効
OSD位置	16:9, 4:3, スルー
天吊り	オン, オフ On: 画像が180度回転します。
リア	オン, オフ On: 画像が水平方向に反転します。
色温度補正	実行, 戻る
ランプ時間リセット	実行, 戻る
オールリセット	実行, 戻る

－ オートパワーオフ

オートパワーオフ機能をオンに設定すると、無信号で無操作の状態が約10分間続くと、自動的に本機の電源が切れます。本機への入力信号が無く、何も操作しないで約9分が経過すると、下のメッセージが表示されます。



メッセージが表示されてから、約1分で本機の電源は切れます。

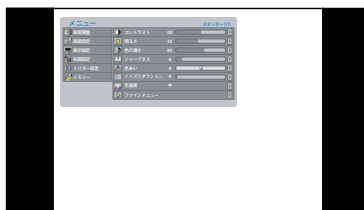
注意 :メッセージが表示された後に、本体の**POWER**ボタンおよびリモコンの**POWER ON**ボタン、**STANDBY**ボタン以外のボタンを押すと、オートパワーオフ機能は一度リセットされます。この後無信号状態でボタン操作がない時点から再びオートパワーオフ機能がスタートします。

－ OSD位置

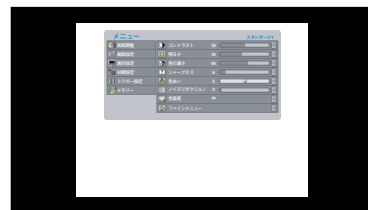
OSDの位置は16：9、4：3、スルーの3タイプに切り替えられます。



OSD位置16：9の場合



OSD位置4：3の場合



OSD位置スルーの場合

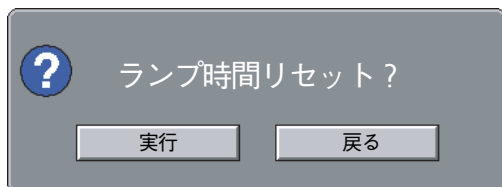
－ 色温度補正

ランプを交換したときなどに、付属の色温度センサーを使い色温度を補正することができます。

補正方法は「色温度の補正」を参照 (P.35)

－ ランプ時間リセット

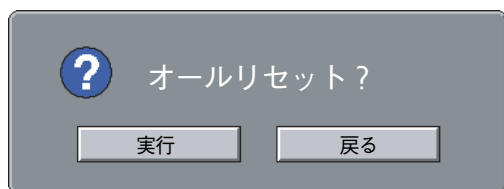
ランプ寿命 2000時間をこえる前にランプ交換をしたとき、必ずランプ寿命をリセットしてください。「初期設定」メニューから、「ランプ時間リセット」を選択します。下のメッセージが表示されます。



“実行”を選択し、**ENTER**ボタンを押すと、ランプ寿命がリセットされます。

ー オールリセット

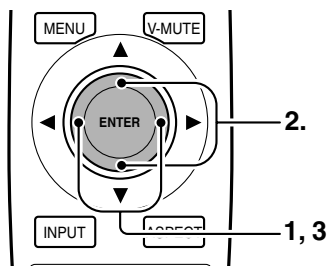
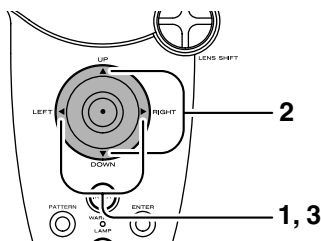
ランプ寿命以外の全てのメモリー設定が、工場出荷状態に戻ります。
“実行”を選択すると、下のメッセージが表示されます。



もう一度“実行”を選択し、**ENTER**ボタンを押します。

❖ 初期設定メニューの操作

1. 設定したいメニュー項目を選び **▶** ボタンを押します。
このとき設定項目が表示されます。
2. **▲/▼** ボタンを押して設定します。
3. **◀** ボタンを押すと設定内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。

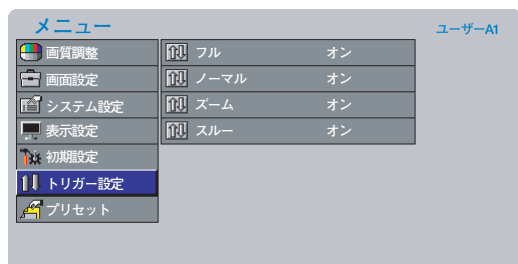


トリガー設定

フル、ノーマル、ズーム、スルーそれぞれのアスペクトモードに対して、トリガー2端子からのトリガー出力信号をオン(12V出力)またはオフ(出力信号なし)に設定することができます。
トリガー出力信号を使用して、自動アスペクトモード切り替え機能付きの電動スクリーンを、本機の操作に合わせて自動で切り替えることができます。

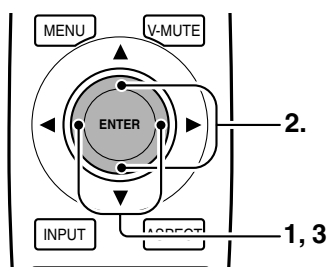
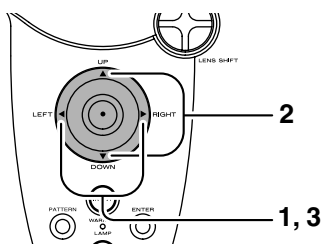
オン: 12V出力

オフ: 出力しない



❖ トリガ設定メニューの操作

1. 設定したいメニュー項目を選び **▶** ボタンを押します。
このとき設定項目が表示されます。
2. **▲/▼** ボタンを押して設定します。
3. **◀** ボタンを押すと設定内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。



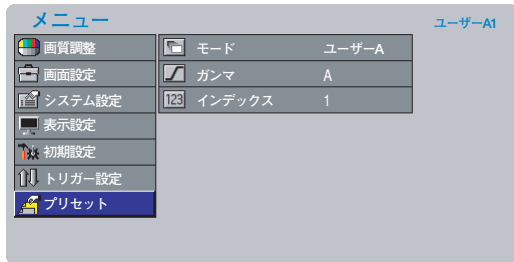
メモリーを選ぶ(プリセット)

投影する映像モードをメニュー画面からも選ぶことができます。

本機は映像モードとして、シアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザーA、ユーザーB、ユーザーC の6種類を用意しています。また各映像モードには、好みの画質調整をメモリーできるインデックスが3つあります。

- ・シアター : 映画ソフトに最適な、黒の再現性を考慮したモードです。
- ・スタンダード : 通常の映像ソフトに適したモードです。
- ・ダイナミック : 視覚的にダイナミックな映像ソフトに適したモードです。
- ・ユーザーA,B,C : お好みのガンマカーブに調整できるモードです。

注意 ・各モードには3つ(1,2,3)のインデックスとデフォルトがあります。デフォルトに設定した場合、メニュー内の「画質調整」を選択できません。

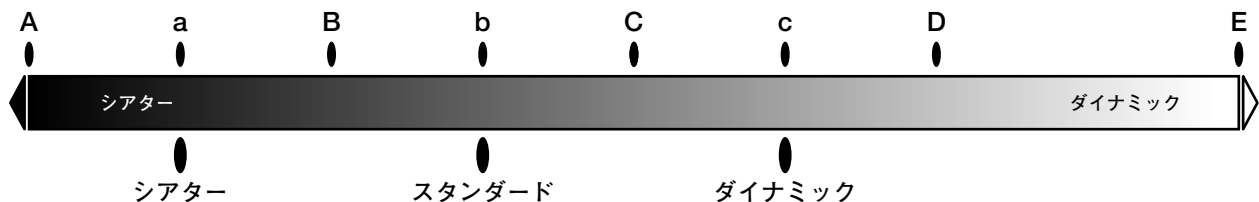


－ インデックスに記憶する

リモコンで上記メニュー画面の「モード」を選択し、シアター、スタンダード、ダイナミック、ユーザーA～C の映像モードからメモリーしたい映像モードを選びます。次にメニュー項目「インデックス」を選び「1」から「3」のうち1つを設定します。メインメニューの「画質調整」に戻り、お好みに合わせて画質を調整します。ここで調整した結果が自動的にメモリーに記憶されます。

－ ガンマの設定

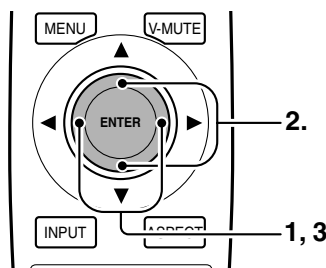
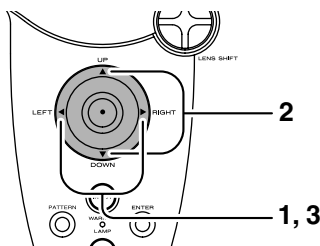
リモコンで上記メニュー画面の「モード」を選択します。このときユーザーA～Cのモードを選択すると、メニュー画面中にガンマメニューが表示されます。表示されたメニュー項目「ガンマ」を選び、お好みのガンマカーブ(A, B, C, D, E, a, b, c)をお選びください。



また専用のソフトウェアを使用して、お好みのガンマカーブを作成することができます。作成したガンマカーブはa, b, cにメモリーすることができます。a, b, c にガンマカーブをメモリーするとメニュー画面で* (アスタリスクマーク) が表示されます。出荷状態では、a: シアター、b: スタンダード、c: ダイナミックのガンマカーブが設定されています。(上図)

❖ メモリー選択の操作

1. 設定したいメニュー項目を選び▶ ボタンを押します。
このとき設定項目が表示されます。
2. ▲/▼ ボタンを押して設定します。
3. ◀ ボタンを押すと設定内容が決定され、メニュー項目の選択に戻ります。



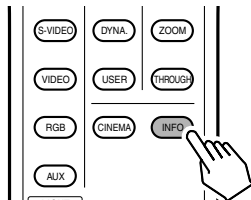
メンテナンスのしかた

ランプ寿命とランプ交換

❖ ランプ寿命

リモコンの**INFO**ボタンを押すと下記の画面が表示されます。画面表示の下から2番目の項目がランプ寿命(残存時間)を表します。

i インフォメーション	
入力フォーマット	コンポーネント1080i
プリセット	ユーザー1
ガンマ	A
シネマモード	オート
アスペクト	ノーマル
トリガー	オン
ランプ残り時間	921 時間
累積使用時間	3653 時間

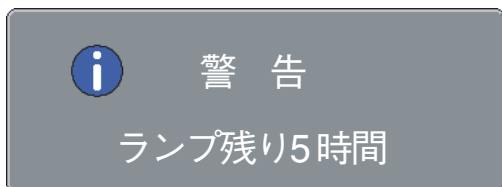


- 注意**
- ・ランプの最大使用時間は2,000時間です。品質には万全を期しておりますが、ランプ使用時間が1000時間をこえると極まれにランプが破損することがあります。プロジェクターに設定されたランプ寿命が1000時間を切りましたら、早めのランプ交換をお勧めします。最大使用時間をこえてランプを使用し続けることはできません。
 - ・本製品は出荷時に厳重な品質管理のもとで、出荷検査を行っています。出荷時におけるメニューの累積使用時間は、この検査時間も含まれていますので、はじめてご使用されるときにおいても、累積使用時間は必ずしも0時間ではありません。

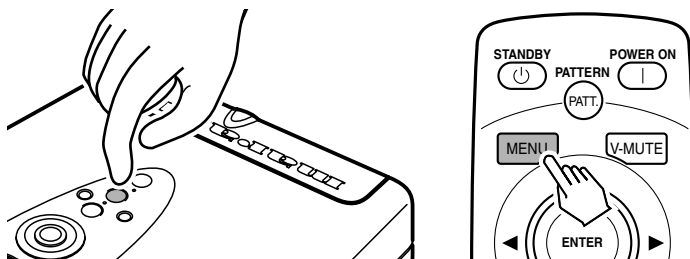
ー ランプ寿命が100時間以下になった場合、電源を入ると以下のようにランプ寿命時間が表示されます。



ー ランプ寿命時間が5時間以下になった場合、下記の画面が表示されます。



この表示を消すには、**MENU**ボタンを押してください。



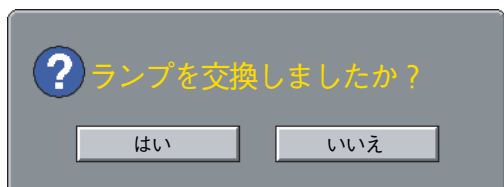
- ー ランプ寿命がなくなると、本機は約2分後に電源が切れ、ワーニングインジケータが赤く点灯します。下図の警告が表示され電源が切れたときは、すぐに新しいランプに交換してください。(ランプユニットの交換を参照 P.33)



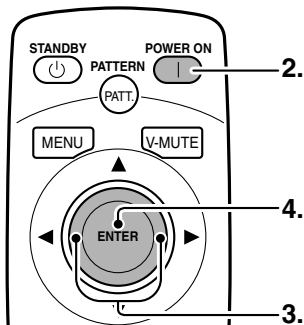
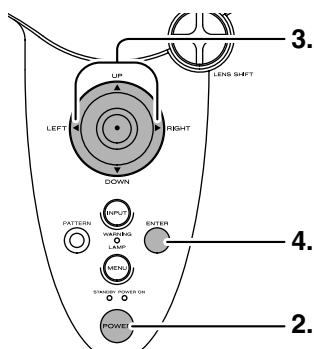
❖ ランプ寿命の初期化

ランプには2000時間の寿命があり、寿命の2000時間をこえて使用すると本機の電源が切れるようになっていきます。この場合、次の手順で使用中のランプ寿命をリセット(初期化)してください。

1. 「ランプ残り0時間」の警告表示の後に本機電源が切れます。すぐに新しいランプに交換してください。(P.33 「ランプユニットの交換」)
2. ランプ交換が完了したら、リモコンの**POWER ON**ボタンまたは本体の**POWER**ボタンを押してください。下記のメッセージ画面が120秒間表示されます。



3. ◀/▶ ボタンを押して、「はい」を選択します。
4. **ENTER**ボタンを押すとランプ寿命がリセット(初期化)されます。



ランプユニットの交換

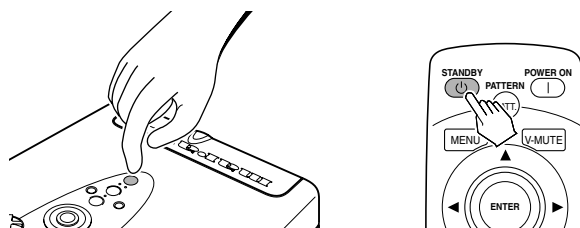
- 注意**
- ・点灯中、消灯直後のランプまたはランプユニットは熱いので、絶対に触れないでください。ランプを取り扱う場合は、消灯した後に冷めるまで1時間以上待ってください。
 - ・ランプ交換時、下記に説明しているネジ以外は絶対に取り外さないでください。
 - ・無理な力を加えたり、機械的な衝撃を与えたりすると、ランプが破損する恐れがあります。
 - ・交換用ランプユニットは、マランツ純正品 LU-12VPS3(別売)をお使いください。

❖ ランプユニットの交換手順

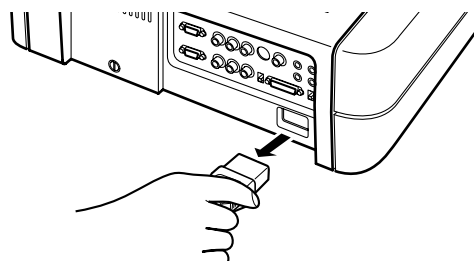
交換前の作業

ランプを交換するときは、本機の電源を切ってください。冷却ファンが止まった後に、AC電源コードを抜いて、完全に冷えるまで1時間以上待ってください。その後ランプを交換します。

1. リモコンの**STANDBY**ボタン、または本体の**POWER**ボタンを押して本機の電源を切ります。

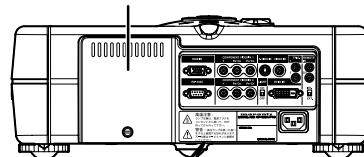


2. 冷却ファンが止まった後、AC電源コードを抜きます。



3. 本機が完全に冷えるまで、60分以上待ちます。
4. 本機の背面にランプカバーがあります。(下図) 背面の注意文および警告文をよくお読みになり、作業を行ってください。

ランプカバー

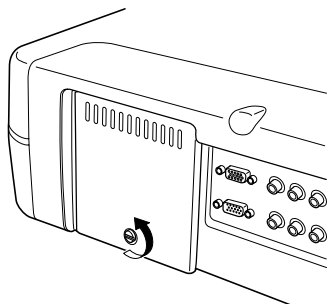


高温注意：
ランプ交換は、電源プラグをコンセントから抜いて、60分待ってから行って下さい。

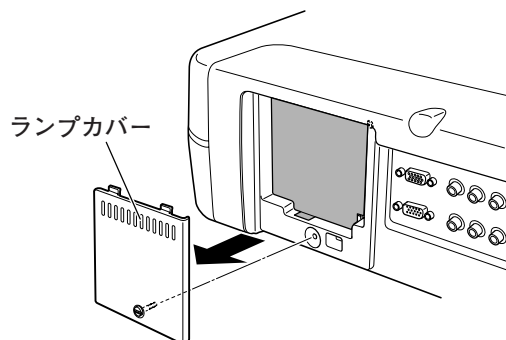


警告： 高圧ランプは誤った扱いをすると破裂する恐れがあります。万一の際はサービスマンに依頼をしてください。

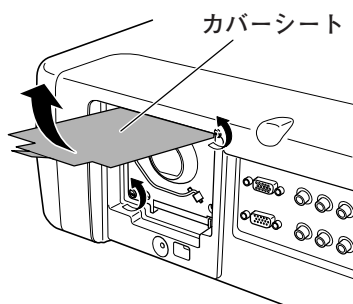
5. ランプカバーの止めネジを外します。



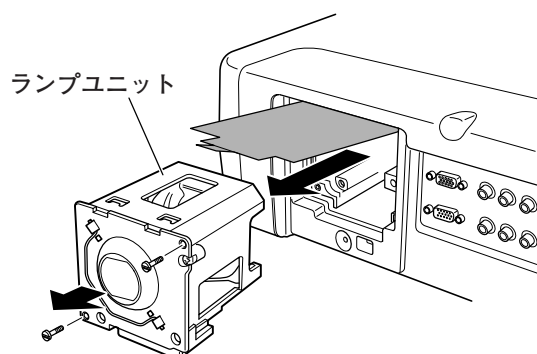
6. ランプカバーを矢印の方向に外します。



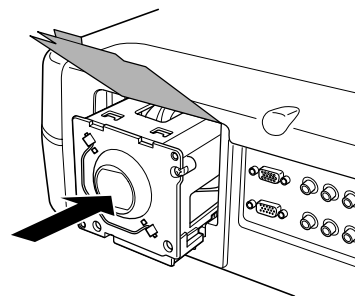
7. カバーシートを開いて、ランプユニットを止めている2本のネジ(マイナス)を外します。それ以外のネジは絶対に外さないでください。



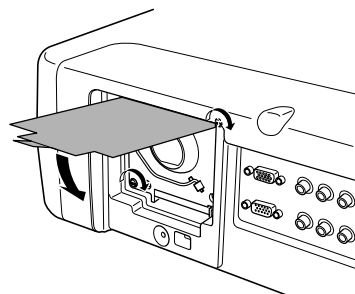
8. ランプユニットのハンドルを持って、ランプユニットを手前に引き、取り出します。



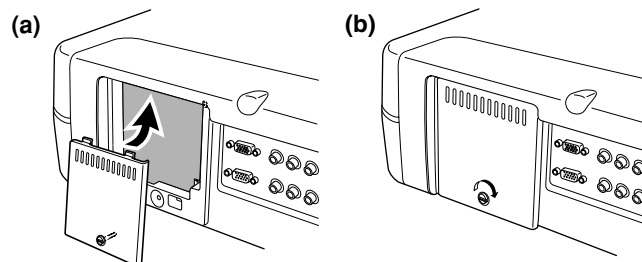
9. 新しいランプユニットを正しい方向で確実に取りつけます。



10. 手順7.で外した2本のネジ(マイナス)でランプユニットを固定します。ハンドルを押して折りたたみ、カバーシートを閉じてください。



11. (a)ランプカバーを元のように取りつけ、(b)止めネジをしっかりと締めます。



12. AC電源コードを差し込み、本機の電源を入れ、画面を投影します。

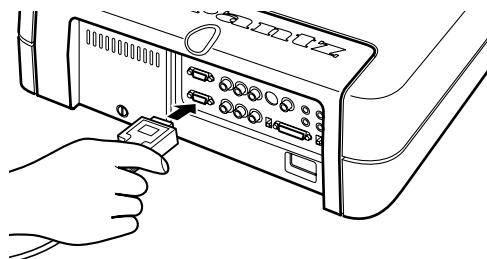
- ランプ寿命2000時間をこえる前に、ランプの交換をした場合は、「ランプ時間リセット」(P.29)を行ってください。
- ランプ寿命2000時間をこえた後に、ランプの交換をした場合は、「ランプ寿命の初期化」(P.33)を行ってください。

色温度の補正

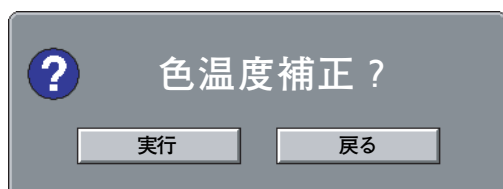
ランプを交換したときなどに、付属の色温度センサーを使い色温度を補正することができます。この補正手順の流れは、まずセンサー自体を初期化し、その後に本機の色温度を補正する手順となっています。

本機の電源をONにしてから、ランプの明るさが安定するまで約10分かかります。色温度の補正はランプの明るさが安定した後に行ってください。

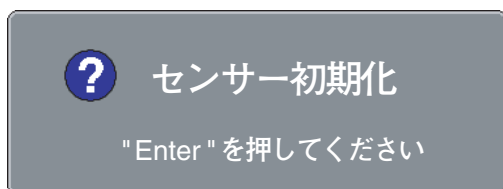
1. 色温度センサーのケーブル端子を本機のRS-232C端子に接続します。



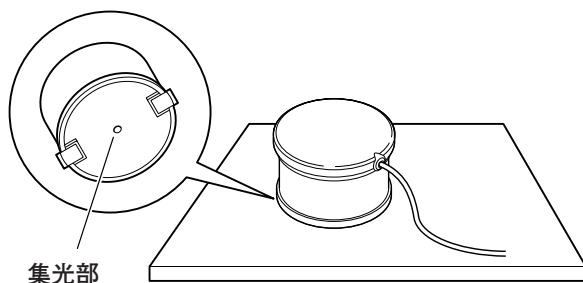
2. **MENU**ボタンを押し、メニュー画面から「色温度補正」を選びます。▶ ボタンを押すと、下記のメッセージ画面が表示されます。



3. 次に◀/▶ ボタンで“実行”を選択し**ENTER**ボタンを押すと、下記のメッセージ画面が表示されます。



ここで必ず**ENTER**ボタンを押す前に、下図のように色温度センサーを暗部にふせて、センサーの集光部に外からの光が入らないようにしてください。



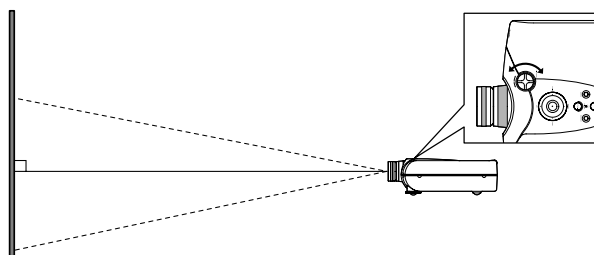
4. **ENTER**ボタンを押すと、下記のメッセージ画面が数秒間表示されます。色温度センサー自体が初期化されます。



5. レンズシフトノブを回して、投影画像の位置(レンズシフトの位置)をセンターに合わせます。

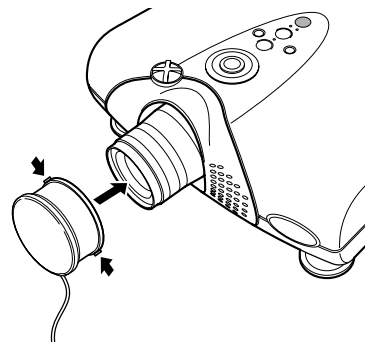
注意 : 投影画像の位置(レンズシフトの位置)がセンターに合っていないと、正しい調整ができません。

センター合わせの目安としては、シフトノブの回転数が回し切り位置から一方向に約11回転ありますので、一度回し切り位置に合わせてから約5回転半回してください。



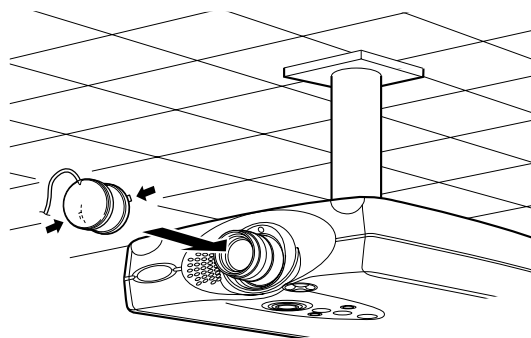
6. 色温度センサーを本機レンズ部分に取り付け、**ENTER**ボタンを押します。色温度の補正が開始され、本機の**WARNING**ランプと**STANDBY**ランプが同時に点滅します。

卓上設置の場合



本体に対して、センサーケーブルを必ず下側にして取り付けてください。

天吊り設置の場合



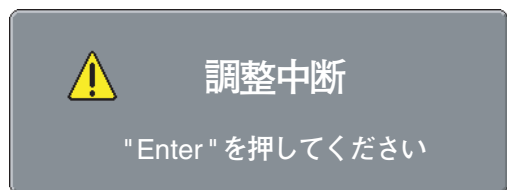
本体に対して、センサーケーブルを必ず下側にして取り付けてください。

7. WARNINGランプとSTANDBYランプの点滅が消えると補正完了です。補正時間は約4～5分かかります。色温度センサーを取り外すと、下記のメッセージ画面が表示されます。



8. ENTERボタンを押してメニューに戻り、色温度センサーのケーブル端子を外します。

注意 :色温度補正が正常に処理できなかったり、色温度補正中にMENUボタンを押したり、何らかの理由で補正処理が中断された場合は、下記のメッセージ画面が表示されます。



またMENUボタンを押すことで、強制的に補正処理を中断させることができます。

❖ 色温度センサーの保護

本機は色温度センサーを保護するために、補正処理が完了してから 無操作状態で約10分経過すると、自動的に本機の電源が切れるようになっています。センサー保護のため電源が切れたときは、以下の処置を行ってください。

● WARNINGインジケーターが点灯していない場合

色温度補正が正常に処理され、センサー保護が働いた場合は、本機はスタンバイ状態になります。通常通り、リモコンの**POWER ON**ボタンまたは本体の**POWER**ボタンを押して電源を入れてください。

● WARNINGインジケーターが点灯している場合

色温度補正が正常に処理されず、センサー保護が働いた場合は、本機のWARNINGランプとSTANDBYランプが同時に点灯しエラーモードを表示します。一度AC電源コードを抜き、再度差し込んでからリモコンの**POWER ON**ボタンまたは本体の**POWER**ボタンを押して電源を入れてください。

レンズのお手入れ

レンズにホコリがついたり汚れたりしたら、カメラや眼鏡用のクリーニング液を使い、乾いたやわらかい布で拭いてください。

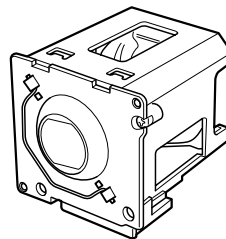
濡れた布や洗剤、シンナー等は絶対に使わないでください。レンズを痛めたりシミになったりします。

交換部品

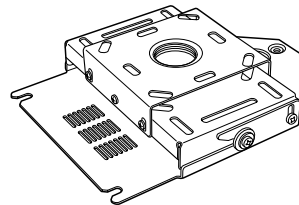
交換部品が必要になった場合は、当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。マランツ指定の交換部品のみをご使用ください。指定のもの以外を使った場合、出火や感電などの危険があります。また、保証の対象外にもなります。

別売品

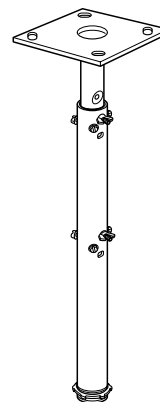
- ランプユニット : LU-12VPS3



- 天吊り金具 : MOUNT 12
本機を天井から吊るすための純正専用金具です。



- 延長ポール : EXT-81
天吊り金具 MOUNT 12と組み合わせて高さ調整を行うための純正金具です。



注意 本機を天井に設置する場合は、特別な技術が必要となります。安全のため、お客様自身での取り付けは行わないでください。詳しくはお買い上げ販売店または、専門の業者にご相談ください。

仕 様

■ 光学系

パネル	Digital Micromirror Device™ 921,600 画素(1280×720×1)
ランプ	200W DC SHPランプ
レンズ	F : F3.0/F5.0、 f : 26.5~30.7 mm (VP-12S3) 40.9~55.3 mm (VP-12S3L) 1.2倍マニュアルズーム
投影サイズ	40インチ~250インチ 16:9スクリーン使用時
投影距離	1.3~7.6 m
明るさ	600/700 ANSI ルーメン (F5.0/F3.0)

■ 電気系

信号方式	NTSC-3.58、PAL-B/G、SECAM
入出力端子	
VIDEO IN	RCA 1系統 コンポジットビデオ1.0Vp-p/ 75Ω
S-VIDEO IN	S端子 1系統 Y(輝度)1.0Vp-p/ 75Ω C(クロマ)バースト0.286Vp-p/ 75Ω (NTSC) C(クロマ)バースト0.3Vp-p/ 75Ω (PAL)
COMPONENT VIDEO IN	
	RCA×3 2系統 G/Y :0.7Vp-p/75Ω B/C _B /P _B :0.7Vp-p/75Ω R/C _R /P _R :0.7Vp-p/75Ω
RGB	ミニD-sub 15ピン 1系統 G :0.7Vp-p/75Ω B :0.7Vp-p/75Ω R :0.7Vp-p/75Ω HD :5Vp-pハイインピーダンス VD :5Vp-pハイインピーダンス
DVI-D	DVI-D 24ピン TMDS準拠 (シングルリンクのみ)
REMOTECONTROL IN	
	3.5φミニジャック 1系統
REMOTECONTROL OUT	
	3.5φミニジャック 1系統
Trig. Out (DC12V 100mA)	
	3.5φミニジャック 2系統
電 源	AC100V 50/60 Hz
消費電力	320W/3W(待機時)
(電気用品安全法)	

■ その他

外形寸法	404.5(W)×471(D)×158(H)mm
質 量	13 kg
動作温湿度	5 ~ 35℃/30 ~ 85% ただし、結露しないこと
保存温湿度	-20 ~ 60℃/30 ~ 85% ただし、結露しないこと
付属品	レンズキャップ リモコン 乾電池(単3×2本) AC電源コード 色温度センサー コントロールアダプターケーブル 取扱説明書 保証書 ご愛用者カード

この仕様または外観を改善のため予告なく変更することがあります。

❖ 対応解像度一覧

入力信号一覧

システム	解像度	垂直(Hz)	水平(KHz)	Scan
NTSC	768x240	59.94 / 60	15.73	I
PAL-B/G	960x287.5	50	15.63	I
SECAM	960x287.5	50	15.63	I
480/60p	720x480	59.94 / 60	31.5	P
576/50p	720x576	50	31.3	P
1035/60i	1920x518	59.94 / 60	33.8	I
1080/60i	1920x540	59.94 / 60	33.8	I
1080/50i	1920x540	50	28.1	I
1080/48i	1920x540	48	27.0	I
720/60p	1280x720	59.94 / 60	45.0	P
720/50p	1280x720	50	37.5	P
720/48p	1280x720	48	36.0	P
540/60p	1920x540	59.94 / 60	33.8	P
640x350 ^{#1}	640x350	70	31.5	P
640x350 ^{#1}	640x350	85	37.9	P
640x400 ^{#1}	640x400	70	31.5	P
640x400 ^{#1}	640x400	85	53.7	P
640x480	640x480	60	31.5	P
640x480 ^{#1}	640x480	72	37.9	P
640x480 ^{#1}	640x480	75	37.5	P
640x480 ^{#1}	640x480	85	43.3	P
800x600	800x600	56	35.2	P
800x600	800x600	60	37.9	P
800x600 ^{#1}	800x600	72	48.1	P
800x600 ^{#1}	800x600	75	46.9	P
800x600 ^{#1}	800x600	85	53.7	P
1024x768	1024x768	43	35.5	P
1024x768	1024x768	60	48.4	P
1024x768 ^{#1}	1024x768	70	56.5	P
1024x768 ^{#1}	1024x768	75	60.0	P
1024x768 ^{#1}	1024x768	85	68.7	P

入力信号	Video	S-Video	コンポーネント	RGB	DVI	備考
NTSC	○	○	—	—	—	
PAL-B/G	○	○	—	—	—	
SECAM	○	○	—	—	—	
Video 60Hz	—	—	○	○	—	#2
Video 50Hz	—	—	○	○	—	
480/60p	—	—	○	○	○	#2
576/50p	—	—	○	○	○	
1035/60i	—	—	○	○	○	#2
1080/60i	—	—	○	○	○	#2
1080/50i	—	—	○	○	○	
1080/48i	—	—	○	○	○	
720/60p	—	—	○	○	○	#2
720/50p	—	—	○	○	○	
720/48p	—	—	○	○	○	
540/60p	—	—	○	○	○	#2
640x350@70Hz	—	—	—	○	○	
640x350@85Hz	—	—	—	○	○	
640x400@70Hz	—	—	—	○	—	
640x480@60Hz	—	—	—	○	○	
640x480@72Hz	—	—	—	○	—	VESA#901101
640x480@75Hz	—	—	—	○	—	
640x480@85Hz	—	—	—	○	—	
800x600@56Hz	—	—	—	○	○	VESA#900601
800x600@60Hz	—	—	—	○	○	VESA#900602
800x600@72Hz	—	—	—	○	—	VESA#900603A
800x600@75Hz	—	—	—	○	—	
800x600@85Hz	—	—	—	○	—	
1024x768@60Hz	—	—	—	○	○	
1024x768@70Hz	—	—	—	○	—	
1024x768@75Hz	—	—	—	○	—	

#2 : 59.94、60Hzの両周波数

I : インターレース信号
P : プログレッシブ信号

- 注意**
- 上記の表で#1が付いているシステムは正確に表示されません。
 - 上記の入力信号一覧以外の信号は画像を表示しない場合があります。

用語

アスペクト(縦横比)

画面(投射画像)の縦と横の比率です。普通のコンピュータ画面やテレビ画面の比率は4:3です。ワイド画面の比率は16:9から21:9です。

黒レベル

黒の濃さを表すレベルです。

アメリカのNTSCシステムでは、7.5IREです。

日本のNTSCシステムとDVDでは、0IREです。

NORMAL : 16(黒) ~ 235(白)

EXPAND : 0(黒) ~ 246(白)

色温度

白色の色あいです。

色温度が低いと、暖かい感じ(黄色味/赤味が強く)の画像になります。

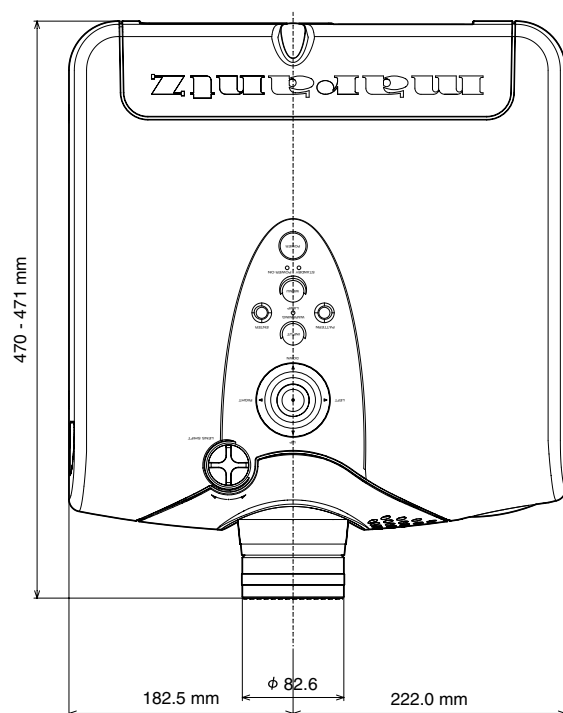
色温度が高いと、冷たい感じ(青味が強く)の画像になります。

キーストン

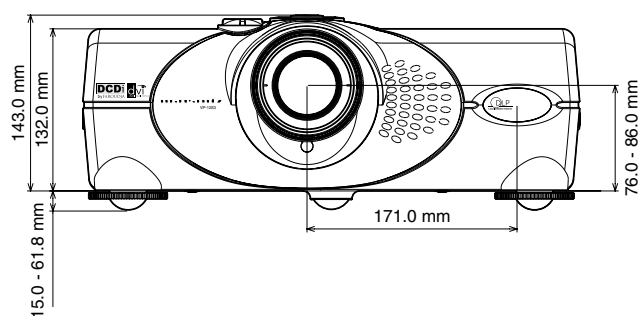
水平、垂直方向の角度が正しくないために起こる、画面の歪みです。

外觀圖

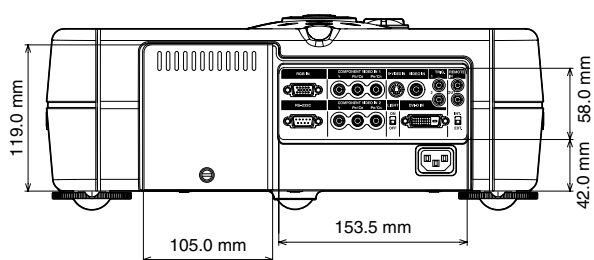
❖ 上面



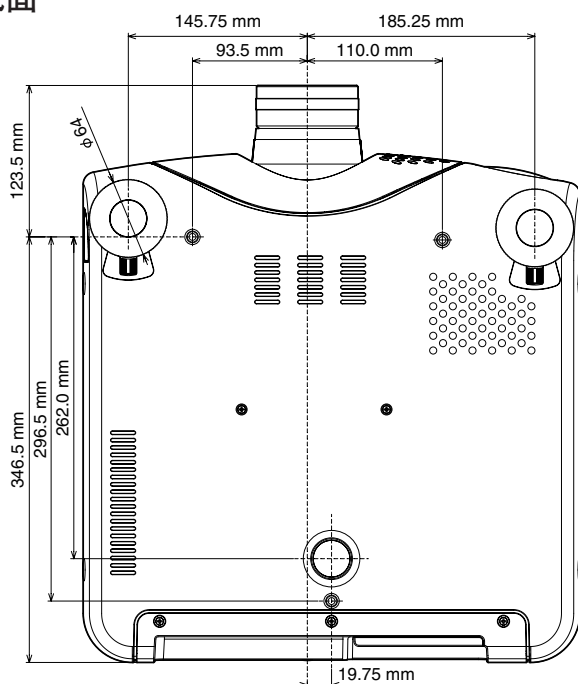
❖ 正面



❖ 背面



❖ 底面



故障かな? と思ったら

修理をご依頼される前に、次のことをチェックしてください。

1. 各機器との接続は正しく行われていますか？
2. 取扱説明書にそった、正しい操作を行っていますか？

本機が正しく動作しない場合は、以下の表の項目をチェックしてください。

以下の項目をチェックし、処置された後でも正しく動作しない場合は、内部の故障が考えられます。すぐにAC電源コードを抜いて、販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。	電源コードがはずれていませんか。	電源コードをしっかり差し込む。
	ランプハウス、ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	ランプハウス、ランプカバーを正しく取り付ける。
電源は入るが映像が出ない。	信号ケーブルがしっかり入力端子に接続されていますか。	信号ケーブルをしっかり入力端子に接続する。
	接続されている入力系統を選んでいますか。	本体INPUTボタン、あるいはリモコンのCOMPONENT1、COMPONENT2、S-VIDEO、VIDEO、RGB、AUXボタンで接続されている入力系統を選ぶ。
	映像ミュートがかかっていますか。	リモコンのV-MUTEボタンを押して映像ミュートを解除する。
色合いが合わない。	画質の調整をしましたか。	メニューを使い画質の調整をする。
映像が暗い。	ランプが寿命に近づいていませんか。	新しいランプと交換する。
	CONTRAST/BRIGHTNESSが正しく調整されていますか。	メニューを使い、CONTRAST、BRIGHTNESSを正しく調整する。
映像がぼやける。	レンズフォーカスが合っていますか。	レンズフォーカスを、フォーカスリングを回して調整する。
	レンズなどが結露していませんか。	電源を入れた状態で2時間程度放置する。
映像が乱れる。	信号ケーブルが正しく接続されていますか。	信号ケーブルを正しく接続する。
リモコンが動作しない。	乾電池が消耗していませんか。	乾電池を新しいものと取り替える。
	距離が離れすぎていませんか。	近づいて送信する。
	リモコンとの間に遮へい物はありませんか。	遮へい物を取り除く。
	端子部のREMOTEスイッチがEXTERNALになっていませんか。	端子部のREMOTEスイッチをINTERNALにする。
色温度補正ができない。	センサーケーブルが外れていませんか。	センサーケーブルを正しく接続する。
	正しく初期化されましたか。	正しい手順でセンサーの初期化を行う。
	レンズシフトノブを正しい位置(センター)に設定しましたか。	正しい手順でレンズシフトノブを正しい位置(センター)に設定する。

注意 ランプを交換しランプ寿命を初期化した後でもランプが点灯しない場合は、お買い上げの販売店または当社営業所、サービスセンターにご連絡ください。

メモ： 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズにより正常に動作しないことがあります。このような場合は一度電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。そして、再度電源プラグをコンセントに差し込み、本機のPOWERボタンを押すかリモコンのPOWER ONボタンを押し、動作の確認をしてみてください。

エラーモード一覧

本機にはWARNING/LAMP, POWER ON, STANDBY の3つのインジケータから故障の判別を行うことができます。もし各インジケータがエラーモードを表示したら、下記一覧表を参照し適切な処置を行ってください。

注意 エラーモードが表示され以下の処置を行うときは、必ず一度AC電源コードを抜き、再度差し込んでから処置を行ってください。

エラーモード	インジケータ			原因	処置
	WARNING / LAMP	POWER ON	STANDBY		
ランプカバー	点灯	消灯	点滅	ランプカバーが正しく装着されていない。	ランプカバーが正しく装着されていることを確認してください。
ランプ	点灯	消灯	消灯	ランプ点灯失敗。	ランプが寿命に達していないかを確認してください。
温度	点滅	消灯	点滅	本体内部温度が規定値より高い。	吸排気孔の前に物が置かれていないか確認してください。
ファン	点滅	消灯	点灯	ファンに異常がある。	
色温度補正	点灯	消灯	点灯	色温度補正失敗。	再度補正を行ってください。
その他	点滅	消灯	消灯	内部プログラムエラー。	再度電源を入れ直してください。

スクリーンメッセージ

スクリーン上に次のようなメッセージが表示された場合は、下記一覧表を参照し適切な処置を行ってください。

メッセージ	メッセージ内容	処置
入力信号なし	信号が入力されていません。	接続を確認する。
ランプを交換しましたか？	ランプを交換してください。	ランプを交換する。
未対応信号	サポートしていない信号が入力されています。	入力信号の設定を確認する。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
保証書は「販売店・お買い上げ日」をご確認の上、販売店からお受けとりいただき、よくお読みの上、大切に保存してください。
2. 保証期間はお買い上げ日より1年間です。（但し、ランプは除きます。）
正常なご使用状態で、この期間内に万一故障の際は、お買い上げ販売店、または当社営業所、サービスセンターで保証書記載事項に基づき「無料修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、お買い上げ販売店または取扱説明書の裏面に記載の当社営業所、サービスセンターにご遠慮なくご相談ください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度「故障かな？ と思ったら」をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

- 1) 品 名 **ビデオプロジェクター**
- 2) 品 番 **VP-12S3 / VP-12S3L**
- 3) お買い上げ日 年 月 日
- 4) 故障の状況 （できるだけ具体的に）
- 5) ご 住 所
- 6) お 名 前
- 7) 電 話 番 号

marantz®

日本マランツお客様ご相談センター

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-16-11

☎ (03) 3719-3481

ご相談受付時間

9:30 - 12:00 13:00 - 17:00

(土 日 祝日 当社休日を除く)

○ 修理に関しましては下記サービスセンター、又は別紙営業所一覧の各営業所で承っております。

首都圏サービスセンター 〒228-8505 神奈川県相模原市相模大野7-35-1 ☎ (042) 748-0762

大阪サービスセンター 〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場2-1-10 ☎ (06) 6337-6699
船場モンブランビル5F

日本マランツ株式会社

本社 〒228-8505 神奈川県相模原市相模大野7-35-1

国内営業部 〒113-0034 東京都文京区湯島 3-16-11

当社の最新情報をインターネット上でご覧下さい。

<http://www.marantz.co.jp>